

# 小中学校の適正配置に関する意識調査 集計結果報告書

## も く じ

■意識調査集計結果 全体のまとめ	... 1
■小学生保護者の集計	...11
■中学生保護者の集計	...37
■教職員の集計	...54

平成26年4月  
宮代町教育委員会

## 意識調査集計結果(全体のまとめ)

〔実施期間〕 平成26年2月12日（水）～2月20日（木）

〔対象者・回収率〕

	保 護 者			教 職 員		
	配 布 (家庭数)	回 収	回収率	配 布	回 収	回収率
小 学 校	1,141件	1,070件	93.8%	100件	98件	98.0%
中 学 校	718件	617件	85.9%	69件	68件	98.6%
合 計	1,859件	1,687件	90.7%	169件	166件	98.2%

〔集計結果（まとめ）〕

一部、端数調整のため合計が100%にならない場合があります

### I 回答者自身について

【質問1】 回答者の性別 …保護者の回答者の大半を「女性」が占めました。

選択項目	小学生	中学生	教職員
ア 男	115件	59件	71件
イ 女	944	554	91
無回答	11	4	4

【質問2】 回答者の年代

選択項目	小学生	中学生	教職員
ア 29歳以下	17件	5件	29件
イ 30～34歳	129	17	15
ウ 35～39歳	333	103	9
エ 40～44歳	412	258	11
オ 45～49歳	129	166	21
カ 50歳以上	34	60	80
無回答	16	8	1

【質問3】 子どもの学年 …各学年ほぼ均等に回答いただいたようです。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
1年生	220件	8件	230件	17
2年生	219	10	207	10
3年生	220	10	199	16
4年生	210	10		
5年生	236	11		
6年生	209	10		
その他				小中60

## Ⅱ 通学路・通学区域について

### 【質問4】現在の通学手段

小学生の大半は「徒歩」です。その他は区域外から通学する児童が自動車等を使用しているようです。中学生では自転車通学が認められるため全体の1/3程度が利用しています。この自転車通学の条件は単純な距離ではなく、学校ごとに区域を定めて許可されています。

選択項目	小学生	割合	中学生	割合
ア 徒歩	1,053件	99.1%	380件	62%
イ 自転車	0件	0.0%	223件	36%
ウ その他	10件	0.9%	9件	2%

### 【質問5】「現在の通学距離」と「上限」

通学距離の「上限」はややバラつきが見られますが、最も多い回答は「小学生・2km未満」、「中学生・3km未満」という結果になりました。

選択項目	小学生		選択項目	中学生	
	現在	上限		現在	上限
ア 500m未満	141件	3件	1km未満	176件	11件
イ 500m～1km未満	297	125	1km～2km未満	199	107
ウ 1km～1.5km未満	239	232	2km～3km未満	118	154
エ 1.5km～2km未満	165	295	3km～4km未満	30	114
オ 2km～2.5km未満	66	142	4km～5km未満	7	76
カ 2.5km～3km未満	37	143	5km～6km未満	5	62
キ 3km以上	19	19	6km以上	8	9

### 【質問6】「現在の通学時間」と「上限」

通学時間の回答は、通学距離ほど分散していません。小・中学校とも「30分以内」がめやすとなるようです。

通学路では、距離もちろんですが、これに要する「時間」に重きがおかれていることがうかがえました。

選択項目	小学生		中学生	
	現在	上限	現在	上限
ア 10分以内	258件	15件	162件	8件
イ 20分以内	365	191	313	137
ウ 30分以内	240	472	53	257
エ 40分以内	112	33	9	96
オ 50分以内	34	60	2	19
カ 60分以内	2	35	0	14
キ 60分超	0	0	0	1

【質問7】 通学区域の設定にあたり、優先すべきこと(2つ選択)

通学区域の設定における配慮事項は「安全」「距離」に回答が集中しました。

通学路では、距離もちろんですが、これに要する「時間」に重きがおかれていることに多かった「バランス」は、自由意見欄にもあるように「区域の中心に学校があると良い」ということのように。

選択項目	小学生	中学生
ア 道路交通環境や、災害時を考慮して安全面に配慮する	48%	48%
イ 学校までの通学距離があまり遠距離にならないよう配慮する	38%	35%
ウ 自治会や祭りなどの地域活動のつながりに配慮する	1%	1%
エ 駅など公共的施設の配置に配慮する	2%	2%
オ 一部に集中しないように、地域間、学校間のバランスに配慮する	11%	13%
カ その他	1%	1%

【質問8】児童・生徒数減少による影響について

- ① 仲間との交流により切磋琢磨したり、刺激し合う機会が少なく、競争心や社会性が育ち難くなる

小・中学生ともに、保護者より教職員の方が感じている項目となりました。  
この差は「どちらとも言えない」に現れていて、特に中学校ではその差が顕著です。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	17%	15%	20%	22%
やや思う	33%	40%	35%	46%
どちらとも言えない	30%	28%	29%	16%
そう思わない	20%	17%	16%	16%

- ② 運動会の種目や音楽の合奏、合唱など、集団での活動への取組にくくなり、迫力にも欠ける

保護者と教職員の回答の分布がだいたい近似しています。  
いずれも小学生より中学生で感じられる項目のようです。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	18%	13%	22%	19%
やや思う	33%	44%	38%	41%
どちらとも言えない	24%	22%	21%	21%
そう思わない	25%	21%	19%	19%

- ③ 多くの友達の見かたや考え方に触れながら学習を進めたりすることがしにくくなる

保護者、教職員ともに「どちらとも言えない」がもっとも多い回答となりました。  
「工夫次第」とも解せます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	11%	10%	13%	9%
やや思う	28%	30%	31%	33%
どちらとも言えない	35%	36%	37%	42%
そう思わない	26%	24%	19%	16%

- ④ 限られた集団で育つため、子どもたちの関係や集団の中での役割、位置が固定化される

保護者、教職員ともに多くが感じている項目となりました。特に教職員では全体の8割弱が感じていることが分かりました。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	24%	22%	26%	22%
やや思う	36%	57%	41%	57%
どちらとも言えない	25%	14%	25%	13%
そう思わない	15%	7%	8%	8%

- ⑤ 先生の数が少ないため、校務に追われ子どもたちとふれあう時間が減る

保護者、教職員の回答にかい離がある項目のひとつとなりました。  
特に、保護者回答では「どちらとも言えない」が最も多くなっています。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	15%	44%	17%	47%
やや思う	31%	30%	35%	30%
どちらとも言えない	38%	19%	36%	7%
そう思わない	16%	1%	12%	3%

- ⑥ PTAや子ども会などの活動で、保護者の役割・負担が増える

⑤同様ですが、保護者、教職員の回答が逆になった形です。  
また、小学生へ保護者の方が中学生保護者より実感していることがうかがえます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	40%	16%	32%	18%
やや思う	35%	47%	35%	39%
どちらとも言えない	19%	31%	26%	39%
そう思わない	6%	6%	7%	4%

- ⑦ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や、情報を得たりすることが難しくなる

保護者では「どちらとも言えない」「そう思わない」が7割を超えており、情報・交流については、他にも手段・方法があることがうかがえます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	6%	11%	6%	8%
やや思う	18%	36%	24%	38%
どちらとも言えない	43%	41%	44%	38%
そう思わない	33%	12%	26%	16%

- ⑧ 学級数の減少により先生の数が減るため学校運営が難しくなる

保護者と教職員との回答にかい離がみられます。

特に中学校では「そう思う」の割合が高くなっています。この要因のひとつとして中学校での教員数は、教科担任数に直結するためと考えられます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	13%	31%	14%	47%
やや思う	31%	30%	30%	30%
どちらとも言えない	43%	23%	40%	10%
そう思わない	13%	7%	11%	3%

- ⑨ クラブ活動の種類が少なくなったり、活動内容が縮小したりする

保護者、教職員ともに回答者の多くが感じている項目のようです。

また、自由意見欄でも「部活動の種類」「人数」に関する意見が多く寄せられていました。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
そう思う	45%	33%	58%	69%
やや思う	36%	30%	32%	30%
どちらとも言えない	14%	10%	7%	6%
そう思わない	5%	2%	3%	1%

【質問9】 望ましい1学級あたりの人数

1クラスあたりの人数としては、小学校「21～30人」、中学校「26～35人」に回答が集まっています。

参考ですが、平成26年度の1クラスあたり児童生徒数（平均）は、以下のとおりとなっています。

〔小学校 約28人/クラス      中学校 32人/クラス〕

なお、1クラスあたりの児童・生徒数は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」により、「上限40人」と定められています。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
ア 20人以下	4%	3%	2%	0%
イ 21～25人	31%	41%	16%	0%
ウ 26～30人	47%	53%	46%	12%
エ 31～35人	15%	3%	31%	58%
オ 36～40人	3%	0%	5%	30%

【質問10】 望ましい1学年あたりの学級数

1学級（単学級）を望む回答はなく、また多くても6学級が最大でした。

小学校では、保護者・教職員ともに「3学級」が最も多い回答でしたが、中学校では保護者「3学級」、教職員「4学級」に分かれたようです。

理由として、中学校では「全教科の担任が配置される規模」であることが考えられます。また、体育科など男女別で行う授業では「偶数学級」が運営しやすい点も考えられます。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
ア 1学級	0%	0%	0%	0%
イ 2学級	13%	10%	1%	0%
ウ 3学級	68%	83%	52%	10%
エ 4学級	12%	7%	25%	50%
オ 5学級	5%	0%	17%	27%
カ 6学級	1%	0%	4%	13%
キ その他	1%	0%	1%	0%



【質問11】 【問10】1学年あたり学級数の選択理由(2つ選択)

1学年の学級数を選んだ理由の集計です。

小・中学校保護者、教職員とも「クラス替え」ができることが最も多い回答です。

次に多かった回答は、小・中学生保護者では「いろいろな役割りの経験」が、教職員では「学校全体の活気」となっています。

選択項目	小学校	中学校	教職員
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	64件	35件	1件
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える 相性が合わない場合に環境を変えられる	719	376	120
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う 機会に恵まれる	468	259	54
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大になる	245	178	56
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高めあえる 機会がある	365	199	72
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	118	125	13
キ その他	33	7	4

※選択された「学級数」ごとの分析は、対象者別集計結果をご覧ください。

【参考】 各小中学校の児童生徒数 (H26.4.6現在)

…意識調査結果を当てはめたもの

		須賀小		百間小		東小		笠原小	
			Avg		Avg		Avg		Avg
1年	児童 学級	58人 2学級	29人	84人 3学級	28人	36人 2学級	18人	64人 2学級	32人
2年	児童 学級	77人 3学級	26人	60人 2学級	30人	47人 2学級	24人	53人 2学級	27人
3年	児童 学級	61人 2学級	31人	75人 2学級	38人	46人 2学級	23人	51人 2学級	26人
4年	児童 学級	73人 2学級	37人	68人 2学級	34人	47人 2学級	24人	59人 2学級	30人
5年	児童 学級	82人 3学級	27人	61人 2学級	31人	42人 2学級	21人	51人 2学級	26人
6年	児童 学級	79人 2学級	40人	98人 3学級	33人	46人 2学級	23人	45人 2学級	23人
合計	児童 学級	430人 14学級	31人	446人 14学級	32人	264人 12学級	22人	323人 12学級	27人

		須賀中		百間中		前原中	
			Avg		Avg		Avg
1年	生徒 学級	70人 2学級	35人	105人 3学級	35人	66人 2学級	33人
2年	生徒 学級	85人 3学級	28人	98人 3学級	33人	80人 2学級	40人
3年	生徒 学級	90人 3学級	30人	101人 3学級	34人	70人 2学級	35人
合計	生徒 学級	245人 8学級	31人	304人 9学級	34人	216人 6学級	36人

【質問12】 学校の施設・設備のうち、優先して整備した方がよいもの(3つ選択)

保護者、教職員ともに「冷暖房」「トイレ」に回答が集まりました。  
次に多かった回答は、保護者「セキュリティ」、教職員「パソコン環境」です。

選択項目	小学生		中学生	
	保護者	教職員	保護者	教職員
ア 冷暖房設備	25%	20%	27%	28%
イ セキュリティ対策	21%	10%	19%	10%
ウ 図書・資料	9%	14%	9%	7%
エ トイレなど衛生設備	26%	24%	22%	19%
オ 省エネ設備	3%	2%	3%	3%
カ 視聴覚設備	1%	5%	1%	6%
キ 体育施設	6%	7%	8%	8%
ク パソコンとネットワーク環境	9%	17%	11%	17%
ケ その他	1%	1%	1%	1%

「ケ その他」の主なもの(一部、ア〜クと重複)

**安全面**

校舎の補修、耐震対策・補強、災害に備え倉庫や体育館の充実  
警備、スクールバス

**空間・構造**

ゆとりある空間が保障された建物構造と安全性、オープンスペース  
校内の緑化、心が安らぐ環境、環境に配慮した自然豊かな空間  
移動教室があり、教室間の距離がある  
屋上に太陽光発電

**空調・衛生**

冷暖房、男子も個室に入れるトイレ  
感染防止(加湿器等)、  
スーパーや食堂等にある飲料(温・冷)

**学びの環境**

英語教育をする環境  
個々の体に合わせた机、椅子  
理科実験用備品や楽器がもっとあってもよい。

**校庭**

運動しやすい環境、水捌け改良、遊具

## IV 地域との連携、共存について

### 【質問13】 学校と地域で利用される施設との連携・共存

「施設による」という回答も含めると、多機能化に対する理解が高いことがうかがえます。「自由意見欄」でも、「子ども達が様々な年代の方々と触れ合える」「自分と異なる様々な人との接し方を学ぶ」などのご意見もいただいています。

その一方で、多機能化するにあたっての課題として「安全面」「学習に集中できる環境」といった意見もいただいています。

これらは、学校現場と地域の皆さんとの意見交換などにより工夫することで、児童生徒、地域の双方が、より活動しやすい施設として運営できるのではないのでしょうか。

選択項目	小学校	中学校
ア 良いと思う	55%	51%
イ 施設による	43%	47%
ウ 良くない	2%	2%

### 【質問14】 学校に他の施設機能を併設する場合に考えられるもの

小・中学生とも「子ども」対象の施設に対する回答が最も多くなりました。また、中学生では「コミュニティ・生涯学習」の比率が高くなっています。

選択項目	小学校	中学校
ア 福祉サービスのための施設 (交流サロン、高齢者施設、障がい者施設 など)	21%	25%
イ 地域の子どものための施設 (児童館、学童保育、保育園 など)	57%	42%
ウ 地域のコミュニティや生涯学習のための施設 (公民館、図書館 など)	20%	31%
エ その他	2%	2%

「エ その他」の主なもの

体育館 / 図書館 / プール / 役場出張所 / 児童館 / 障がい者施設  
子どもと高齢者の施設 / 診療施設(小児科など) / 病後保育  
スポーツ振興の施設 / 広い校庭や土日でも自由に使える運動をする場所  
ナイター設備等

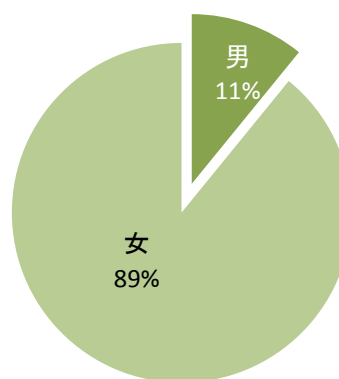
## 意識調査集計結果(小学生保護者)

- ◆実施期間 : 平成26年2月12日(水)～ 2月20日(木)
- ◆配布数 : 1,141件(家庭単位)
- ◆回答数 : 1,070件(回収率 93.8%)

### I 回答者自身について

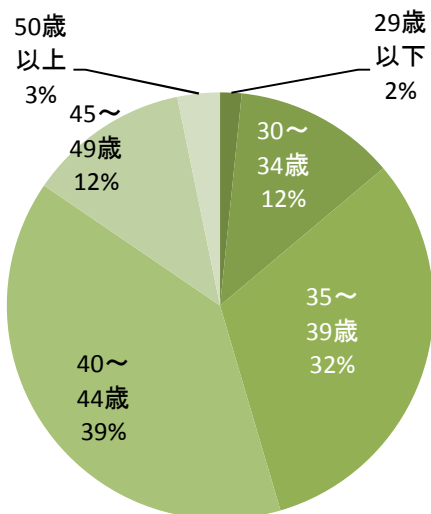
#### 【質問1】 回答者の性別

選択項目	回答数
ア 男	115件
イ 女	944
無回答	11



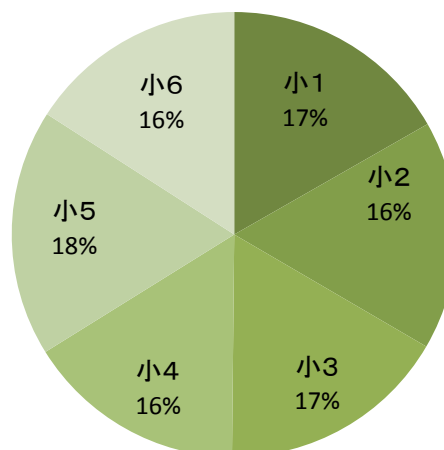
#### 【質問2】 回答者の年代

選択項目	回答数
ア 29歳以下	17件
イ 30～34歳	129
ウ 35～39歳	333
エ 40～44歳	412
オ 45～49歳	129
カ 50歳以上	34
無回答	16



#### 【質問3】 子どもの学年

選択項目	回答数
ア 小1	220件
イ 小2	219
ウ 小3	220
エ 小4	210
オ 小5	236
カ 小6	209



## Ⅱ 通学路・通学区域について

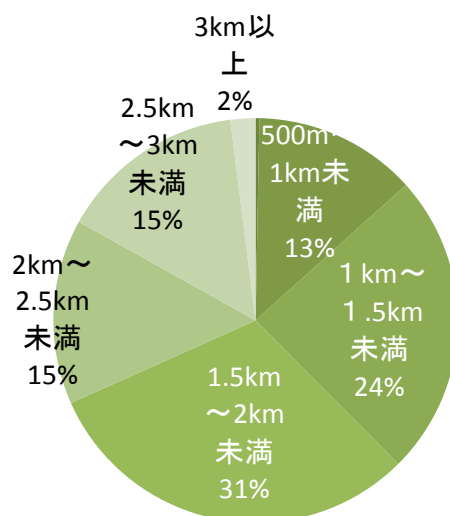
### 【質問4】現在の通学手段

選択項目	回答数	割合
ア 徒歩	1,053件	99.1%
イ 自転車	0件	0.0%
ウ その他	10件	0.9%

宮代町では区域外就学の制度を利用している児童もあるためか、「その他」の回答もみられました。  
手段は車（徒歩併用含む）などが利用されています。

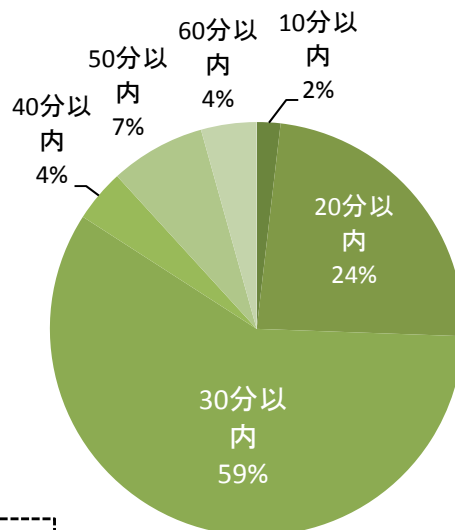
### 【質問5】「現在の通学距離」と「上限」

選択項目	現在	上限
ア 500m未満	141件	3人
イ 500m～1km未満	297	125
ウ 1km～1.5km未満	239	232
エ 1.5km～2km未満	165	295
オ 2km～2.5km未満	66	142
カ 2.5km～3km未満	37	143
キ 3km以上	19	19



### 【質問6】「現在の通学時間」と「上限」

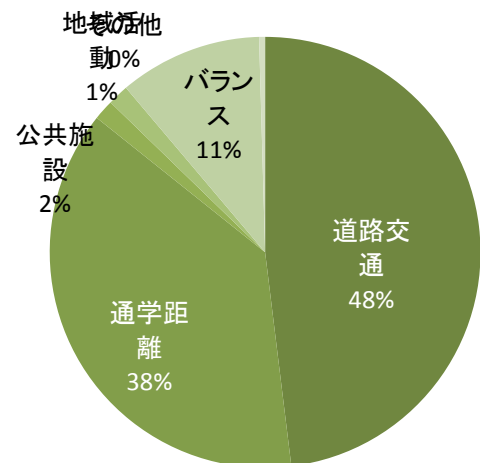
選択項目	現在	上限
ア 10分以内	258	15
イ 20分以内	365	191
ウ 30分以内	240	472
エ 40分以内	112	33
オ 50分以内	34	60
カ 60分以内	2	35
キ 60分超	0	0



問5、6をまとめると「2km」「30分」が、徒歩通学を基本とする小学生の通学距離、時間の上限と考えられているようです。

【質問7】 通学区域の設定にあたり、優先すべきこと(2つ選択)

- ア 道路交通環境や、災害時を考慮して安全面に配慮する
- イ 学校までの通学距離があまり遠距離にならないよう配慮する
- ウ 自治会や祭りなどの地域活動のつながりに配慮する
- エ 駅など公共的施設の配置に配慮する
- オ 一部に集中しないように、地域間、学校間のバランスに配慮する
- カ その他

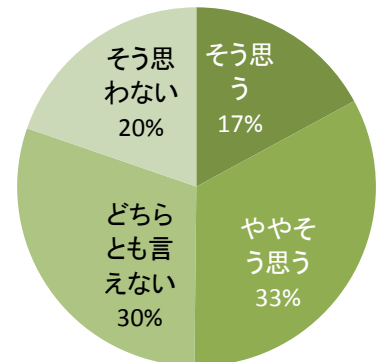


問5、6と合わせて考えると、「安全な通学路」「遠すぎない距離」が、区域設定の優先事項であることがわかりました。これらを勘案した結果として、バランス(11%)という意見も少なからずありました。

【質問8】 児童・生徒数減少による影響について

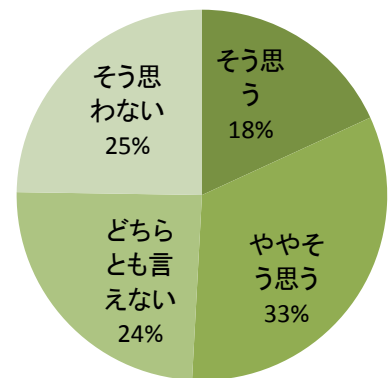
- ① 仲間との交流により切磋琢磨したり、刺激し合う機会が少なく、競争心や社会性が育ち難くなる

約半数が感じている一方で、「どちらとも言えない」「思わない」が半分を占めました。



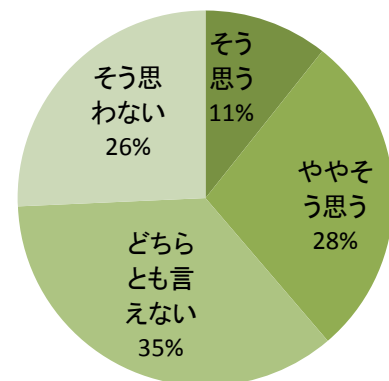
- ② 運動会の種目や音楽の合奏、合唱など、集団での活動への取組にくくなり、迫力にも欠ける

全学年の児童数を合わせると中学校より多いためか、「感じている」層が中学校より少なく表れました。



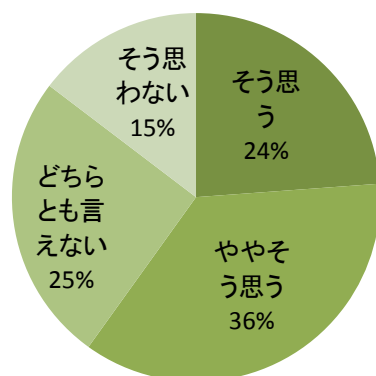
- ③ 多くの友達の見かたや考え方に触れながら学習を進めたりすることがしにくくなる

「取り組み方」「工夫次第」ということでしょうか、「どちらとも言えない」がもっとも多くなりました。



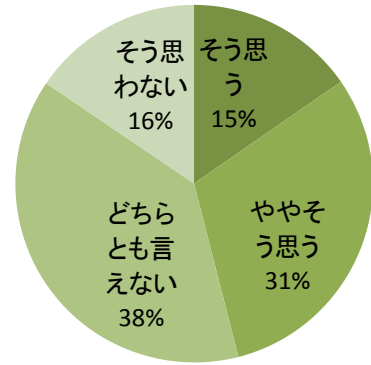
- ④ 限られた集団で育つため、子どもたちの関係や集団の中での役割、位置が固定化される

問11とも関連しますが、回答者全体の約2/3が感じている項目となりました。また、「位置、役割の固定化」は、自由意見でも見られています。



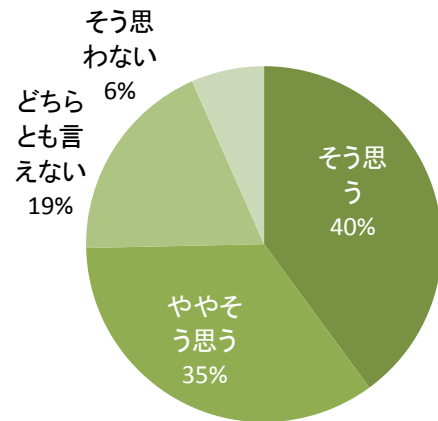
- ⑤ 先生の数が少ないため、校務に追われ子どもたちとふれあう時間が減る

「どちらとも言えない」の層が多く、他にも要因があることがうかがえます。



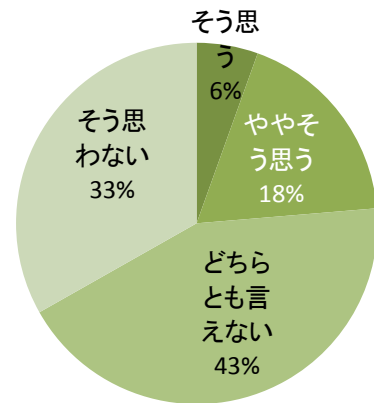
- ⑥ PTAや子ども会などの活動で、保護者の役割・負担が増える

約3/4が「負担増」を感じているようです。中学校(約2/3)を上回っているのは、朝の登校時間の立しようなどが考えられるかもしれません。



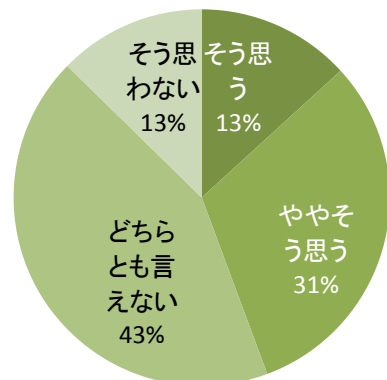
- ⑦ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や、情報を得たりすることが難しくなる

「どちらとも言えない」「そう思わない」が7割を占めており、子どもの数との相関は薄いようです。



- ⑧ 学級数の減少により先生の数が減るため学校運営が難しくなる

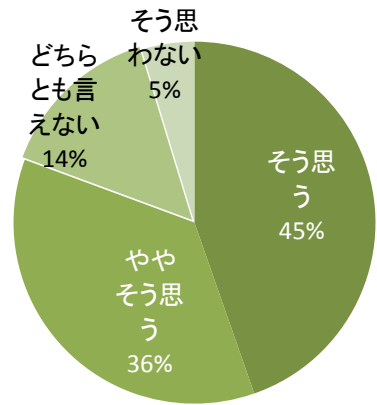
⑤同様、「どちらとも言えない」の層が多くなりました。他にも要因があるということも考えられますし、「運営」という内部の面までは理解しにくいかもしれません。





- ⑨ クラブ活動の種類が少なくなったり、活動内容が縮小したりする

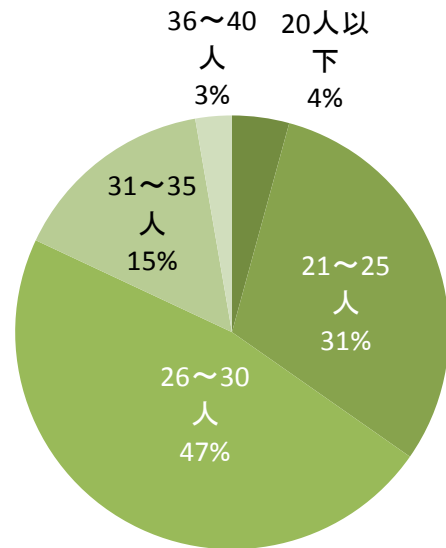
回答者全体の9割が実感している項目となりました。また、自由意見欄でも部活動の種類、人数に関する意見が多く寄せられています。



【質問9】 望ましい1学級あたりの人数

選択項目	回答数
ア 20人以下	45件
イ 21～25人	323
ウ 26～30人	501
エ 31～35人	162
オ 36～40人	29

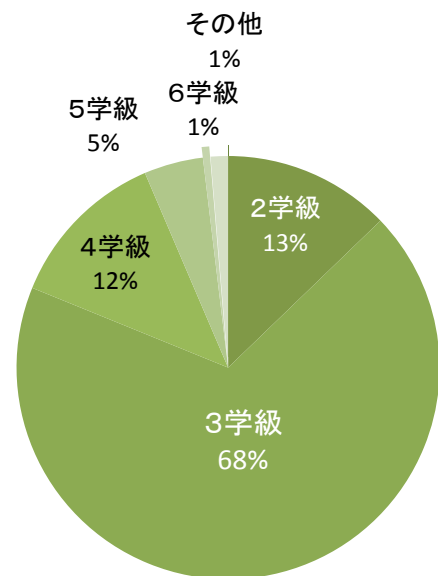
現在の町立小学校の1学級あたりの生徒数は全校を均すと「28人/学級」です。回答と比較すると概ね現在の学級規模を望んでいることがわかりました。但し、学級規模は学年生徒数により大きく変化する場合があります。



【質問10】 望ましい1学年あたりの学級数

選択項目	回答数
ア 1学級	0件
イ 2学級	135
ウ 3学級	722
エ 4学級	131
オ 5学級	48
カ 6学級	6
キ その他	14

「1学級（単学級）」という回答はなく、「3学級」がもっとも多くなりました。問9と合わせて考えると、一学年あたり90～100名程度がめやすとなります。



【質問11】 【問10】1学年あたり学級数の選択理由(2つ選択)

- ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる
- イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える、相性が合わない場合に環境を変えられる
- ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う機会に恵まれる
- エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大になる
- オ 他の学級との交流や競争で、互いを高めあえる機会がある
- カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる
- キ その他

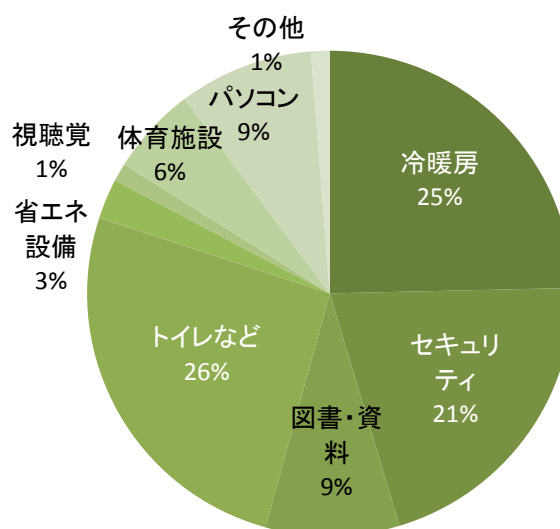
【学級ごとの選択理由(クロス)】

	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	29	31	2	1	1
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える、相性が合わない場合に環境を変えられる	75	519	85	31	4
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う機会に恵まれる	69	325	56	14	2
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大になる	15	164	43	19	2
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高めあえる機会がある	42	253	47	16	2
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	8	81	15	11	1
キ その他	8	14	2	1	0

いずれの学級数でも「クラス替による環境変化」が最も多く挙げられています。また、「いろいろな役割の体験」「活気ある学校行事」「他の学級との交流・競い合い」による、子どもたちの成長への期待感がうかがえました。

【質問12】 学校の施設・設備のうち、優先して整備した方がよいもの(3つ選択)

選択項目	回答数
ア 冷暖房設備	712件
イ セキュリティ対策	599
ウ 図書・資料	258
エ トイレなど衛生設備	744
オ 省エネ設備	77
カ 視聴覚設備	35
キ 体育施設	170
ク パソコンとネットワーク環境	259
ケ その他	36



「ケ その他」の主なもの(一部、ア〜クと重複)

**安全面**

校舎の補修、耐震対策・補強、災害に備え倉庫や体育館の充実警備、スクールバス

**空間・構造**

ゆとりある空間が保障された建物構造と安全性、オープンスペース  
校内の緑化、心が安らぐ環境、環境に配慮した自然豊かな空間  
移動教室があり、教室間の距離がある  
屋上に太陽光発電

**空調・衛生**

冷暖房、男子も個室に入れるトイレ  
感染防止(加湿器等)、  
スーパーや食堂等にある飲料(温・冷)

**学びの環境**

英語教育をする環境  
個々の体に合わせた机、椅子  
理科実験用備品や楽器がもっとあってもよい。

**校庭**

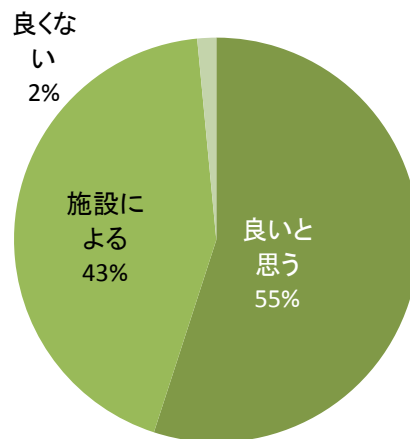
運動しやすい環境、水捌け改良、遊具

「エアコン」に対する要望がもっとも多く、「トイレ」「セキュリティ」がこれに続きました。  
「その他」では、「安全」に関するもの他、様々なご意見をいただきました。

## IV 地域との連携、共存について

### 【質問13】 学校と地域で利用される施設との連携・共存

選択項目	回答数
ア 良いと思う	577件
イ 施設による	456
ウ 良くない	16



#### 「ウ よくない」理由の主なもの 安全面

不特定多数の出入りがあるため防犯上心配

万一不審者等が侵入したときに発見しづらいことがあるかもしれない

学校は学校、子どもの世界。セキュリティ上も悪いように思う。

いろいろな人の出入りが時に子どもにとって危険なこともあるので賛成とはいえない

#### 施設管理

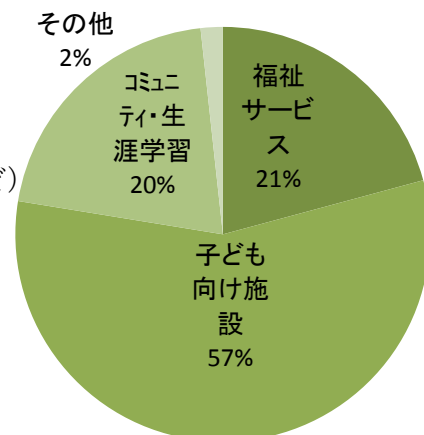
学校は学校教育を行うところ、他の施設が入り込むと先生方の負担が増え、子どもたちの教育から外れていく、学校教育はまわりに左右されずしっかりやって欲しい管理責任があいまいになる

管理を学校任せにせず、きちんと管理しトラブルが内容共存できるのであれば良い先生や子どもたちの負担がふえる、まずは落ち着いて勉強できる環境役員活動が増える、人の出入りが多すぎると逆に危険

「施設による」という回答も含めると、多機能化に対する理解は高いようです。「よくない理由」として寄せられた点は、これからの意見交換などにより工夫して解消することで、児童生徒、地域の双方が、より活動しやすい施設として運営できるのではないのでしょうか。

### 【質問14】 学校に他の施設機能を併設する場合に考えられるもの

- ア 福祉サービスのための施設  
(交流サロン、高齢者施設、障がい者施設 など)
- イ 地域の子どものための施設  
(児童館、学童保育、保育園 など)
- ウ 地域のコミュニティや生涯学習のための施設  
(公民館、図書館 など)
- エ その他



#### 「エ その他」の主なもの

体育館 / 図書館 / プール / 役場出張所 / 児童館 / 障がい者施設  
子どもと高齢者の施設 / 診療施設(小児科など) / 病後保育  
スポーツ振興の施設 / 広い校庭や土日でも自由に使える運動をする場所  
ナイター設備等

### 適正配置全般

- 1学年2学級以上は欲しいと思います。学校を統合すれば職員数も減り経費削減になると思います。小学校はスクールバス、中学校は自転車通学にすれば町内は通えると思います。
- 今のままの学校配置では将来子どもたちのこうとを考えると不安要素が多く、早期に適正な配置を望みます。
- 今までどおりの学区で通わせたいと思っている。災害時は特に家から近い方が安心できる。子どもがすくないなら少ないなりにやればいいのでは。
- 今よりも通学区域が長くなる再編を「適正配置」という名の下に行わないで欲しい。
- いろいろな人とあたり前に交流できるような学校が希望(問14をすべて含む)。新しいことに取り組むことは大変だと思いますが是非ガンバってください。
- 学園台を中心とした再編には反対です。宮代町は細長い町なので両端を切り捨てるようなやり方はしないで欲しい。スクールバスを出す、学童のあり方を考える(放課後、学童外の子と交流できない)等、根本的な運営から考え直すべきです。
- 各学校の特徴を考慮しながら再編して欲しいと思います。
- 各小中学校とも、学年2〜3クラス程度のようなので、その点が一番よいと思う。人数を増やしたりしたところで、いじめや不登校などの問題が増えるような気がする。結局、町の予算等のお金の問題が絡むので中には町のきまりに対して仕方がないのかと思ってしまう。今の宮代町としての良い部分は(教育方針)必ず残していくべきだと思う。それが子どものためというものだと思う。
- 学力レベルが世界へ通用できるようになれば、今後再編や適正として配置するのは賛成です。
- 学校の「建物の劣化」による建替えは必要と思いますが、小学校の統合は更なる少子化を生む可能性もあると思います。
- 学校の規模が小さくなることの利点も検討していただけると良いと思います。私も具体的に思い浮かばないのですが。
- 通いたくなる学校ならば配置などは二の次になると思う。
- 現状どおりでよいと思うが、児童数の変化により以前のような配置になることも仕方ないと思う。自分が卒業した学校はいつまでも残っていて欲しいのは本音である。
- 子どもが減少してもなるべく現状維持でいて欲しいが、止むを得ない場合は子どもたちを第一に考えて検討して欲しい。
- 子供たちの安全第一
- 子どもたちの安全を一番に考えた学校配置をしてください。老人より子どもたちが住みやすい町づくりをしてください。
- 子どもたち優先で考えてください。
- 子どもに数も減っているので統廃合を視野に入れるべきでは。
- 子どもの減少によって小中学校の数を減らすのは仕方がないことだと思う。どの段階で行うのかを十分検討してもらいたい。
- 再編はして欲しいですが、配置がわかりません。
- 再編を考える上で、安全面については十分配慮していただきたいと思います。町のハザードマップを見ると笠原小は他の小中学校と比べて浸水が深いです。集中豪雨が近年増えている中安全面は大丈夫なのでしょうか。

- 主人は町として先を見た政策で良いと言っていますか、私は幸手の権現堂川小や久喜の江面小のような人数のわけではないのであわてて再編しなくても・・・とも思います。親にとって、子どもの母校や通わせている学校がなくなるのはよほどの状況でないとなんか納得しかねると思います。時間をかけて進めていただければと思います。施行規則で決まっていることを聞くのはどうか、変えられないことを誤解する方があるのではないかと。
- 小学校は1つにしてスクールバスで安全なところからの徒歩通学にして欲しい。人数を増やし活気を持って欲しい。ふれ愛センターなどのような児童館併設で自由にいられる場所を作って欲しい。スクールバス何便かは親まで決定するなり自由が欲しい、帰宅しても遊べるところがない。一時預かりの学童も必要。笠原小はすばらしいが、屋根瓦地盤沈下で今後の地震の際には危険がある。新しい村つなげてアグリパークのような公園としてグラウンドとして使うのはどうか。
- 小中学校の生徒数が減っていくのであれば、スクールバスを使うことを考えつつ学校を統合してもよいと思う。その際は学校に保護者用の駐車場も検討していただけるとありがたい。
- 将来この学校に通わせたいから宮代に住みたい、と思うような学校、少子化にあった規模の学校、やはり遠距離ではない学校を目指していただきたいです。
- 慎重に進めていただきたいと思います。
- 生徒数、教員数の適正校を検討いただき良好な教育環境を実現させていただきたい。
- 先日テレビでスキーのジャンプ台がある学校を見ました。夢がありとてもすばらしいと思いました。宮代町も何か特長のある子どもたちの可能性を伸ばしていけるような小学校の再編を期待しています。
- その時代によって、子どもの人数が変わったり地域によって偏りは出てくると思います。できる事ならすべての子どもが不便にならないように考えていただければと思います。
- 確かに少子化、建物劣化の問題はかなり深刻だと思います。自分の通った母校が閉校になったり、解体になるのはとてもさびしく残念ではありますが、今の状態では仕方ないのかなあと感じます。
- 地域の事情等での再編はやめて欲しい。(東小学校)子どもを優先に考えて欲しい。
- 登下校の通学距離はなるべく短い方が良く考えている。このところ不審者による登下校中の犯罪が多発しているから1人でいる時間や大人の人から離れる時間が長いのは心配だ。また、大きな道路や線路を越えて通学するのも事故の面で心配に思っている。1学級の人数は担任の目が行き届きやすい26～30人、学級数はクラス替えで友達の組み合わせが多く似る4クラスくらいあった方が学習・交流面で刺激があって良いと思う。すると自然と教師数が増え、1人の教師がかかえる仕事も分散され、子どもも触れ合う時間が増えて悩みを聞く機会も増えそう。(いじめや自殺問題も減るのでは?)
- 何をもちいて適正化とするか判断できないと思います。宮代町の地形も関係があるので検討が必要だと思います。
- 細長い町の形、将来の子どもの人口の推移等を考え、現状にとらわれない再編計画を立て多くの意見を参考にし、一部の人間だけによる決定はしないで欲しい。
- 町の都合ではなく本当に子どものために考えて欲しいです。学校の数は今のままで十分だと思います。新しく学校が建てられるならばすべての子どもに不公平のないよう考えていただきたいです。
- 昔と大分人口が変わり、また子どもの町内で多い区域と少ない区域があるので再編するのはとても賛成です。
- 私も今の宮代町の現状を考えるとこのままではいけないと思います。しかし、子どもの環境が変わって精神的負担がないようにして欲しいと思います。

## 学校の配置

- 2つの小学校が1つの中学校に入学するのが適当
- 位置的には前原中と東小を廃止するのが妥当である。
- 駅に近い学校は宅地にして売り出し建替えにして近くの農地に建替える
- 同じ地区の子は同じ学校がよい。近所の子なのに学校が違つとどこの子かわからない。特に小学校は。

- 学校施設には併設ではなく、それなら小中高一貫校にしたらいいと思う。スクールバス等使ってくれば遠くても通える。
- 環境の良い場所が一番だと思います。
- 基本徒歩で通わせたいので、通える範囲の配置をお願いします。
- 現在位置でとてもよいと思います。
- 現状としては学校のまわりに住む人たちが子どもに対して理解がありません。放課後や土日のボール遊びに対して「うるさい」と文句を言い追いかけて来る人さえいます。それではのびのびと体を動かす事さえできないので、そういった問題のない場所に学校を建てて欲しいです。
- 校舎が古くなっている事に授業参観の度に感じていました。宮代町の子ども数も少なくなっていることも気になっていました。できれば早急に、地域に最適な場所に建替えて欲しいです。
- 子どもが通うのに遠すぎない距離で、安心して通学できる場所なら問題ないと思います。
- 子どもが自分らしくのびのびと安全に、勉強、運動、遊びができる場であればよいと思います。
- 子どもたちが学習しやすい環境、通いやすい場所、住宅密集地ではなく校庭も広々できる場所が良い。中学校は部活動がおもいきりできる校庭。
- 子どもの数が減っているので合併できる学校はした方がよいのかなと思いますが、子どもが自力で通学できるように配置でないといけないと思います。
- 子どもの数が減り、東小と笠原小がひとつになるという話を聞きましたが、通学時間がいちばんの問題だと思います。人数が少なくても(特に低学年には)負担にならないよう考えていただきたいです。
- 子どもの数の減少で集団活動の減少は少しさみしくも感じますが、下校時に近所の友達と一緒にいけるような狭い地域が学区で割られている方が子どもはのびのび生活できると思います。学校が遠く、友人宅も子どもだけではいけないような距離はあまり望ましくないと感じます。
- このままで良いとは思いますが、町内にある小学校の場所があまりバランスよくないですね。
- 施設の古くなってきている校舎もあり、子どもが減少していることも合わせて統合などの必要も出てきていると思う。前中、須賀中は小中一貫のようにになっているが、メンバーの入れ替えがあっても良いと思う。
- 児童生徒の通学の安全を考えると小中学校をそれぞれ統合するよりも小中学校一貫教育にするとよいと思う。
- 小学生は歩いていくので無理のない距離を、中学生は自転車で全員行かせていいと思う、かばんが重いのに歩くのはかわいそう。宮代町の人口を増やすことを考えてください。水道とか都市計画税とか高い。
- 小学校から中学校に入学する際は他校と合同になるように配置すれば高校入学時に他校生と交流する際にとまどいにならないのではと考える。また子どもたちの集団での一定時な役割りを無理強いされないと考えた。
- 小学校から中学校へそのまま持ち上がりで、同じメンバーというのは望ましいとは思えない。
- 小学校から中学校までメンバーが一緒なので(何名かは増えたり、減ったりしますが)仲良しの子がたくさんいればいいが、いじめられたらすごくいやだと思います。
- 小学校低学年が負担にならないような通学距離を維持した配置にしていだけたらと思っています。
- 小学校の友達とみんなで同じ中学校へ行くという安心感がいいと思うので須賀小・中の一貫教育は大切だと思います。
- 小学校はお互いに行き来できるように校区は徒歩圏内がいいと思います。それに対し中学校は校区を広くして規模を大きくするほうが良いと思います。クラブ活動、友人の幅も広がると思います。
- 小学校は生徒が少なくてもそのままであるべきだと思います。中学校は遠くても自転車に乗って通学できるので近くの学校と合併し学級数を増やした方がいいと思います。

- 小学校よくても中学校は小学校のときよりも多くの友達とふれ合えるようにしてもらいたいです。小中9年間ずっと同じ人数というのもちよっと考えて欲しいと思います。
- 少子化により子どもの数、学級が減っていくことはとても心配になります。あまり遠い学校へ通わせることも負担になりますが、区域をもっと広げてもよいと思います。
- 小中9年間メンバーが変わらない(須賀小中)では、いじめが発生した際に逃げ場がない。学級数が少ないため深刻である。
- 小中一貫もよし悪しだと思ふ。馴れ合ったまま中学校に上がると何も変わらない案息のまま。役割りなども同じまま・・・どうなのか。
- 小中学校が同じ建物になり、先生、児童、生徒が行き交うような配置をして新しい学校をスタートしても良いのでは。
- 小中学校と同じ土地にあると便利だなと思います。
- 小中学校の9年間はほぼ同じ集団だと刺激も少なくて閉ざされた感じがします。
- 小中学校を併設すると安心であるし、便利な気がします。スクールバスがあると安心。
- 人口の集中している場所に学校が多いのはあたりまえのこと、ただ中学で自転車通学になる場合でも小学生は歩きというのは・・・。6時限の日冬になると下校時は暗いですよね。
- 須賀小、須賀中と続いていますので環境としていいと思います。
- 須賀小中ととなりにあっても交流もすくない印象、私立の学校はいろいろ工夫していると聞きます。公立だからと先生も責任が国威だと思います。また、行事もPTAの負担が大きく地域の行事とまとめる等考えては?と思う。意識調査という表現に違和感があります。町、先生からどういう学校づくりをしたいか聞きたいです。
- 須賀小中の同じ地域の子どもが9年間同じ顔ぶれというのは意味がないと思う。思春期の中学生の頃に他の地域の学年同士交流を持った方がいいと思う。小学校と同じ工区で区切るのではなく、地域の枠を外して杉戸や白岡の子も須賀中に通えるようにして小学校の6年間とは違う人たちと学ぶチャンスを持った方がいいと思う。私立でもないのに小中一貫校を謳う意味があるのかわからないし、利点が見えない。
- 須賀小中は一貫教育なので小中ひとつの校舎にして効率良く使用すると良いと思います。
- 須賀小中は小学校入学から中学校卒業までほとんど変わることなく同じ友達と過ごすため友達の輪が広がらず高校入学時心配。
- 須賀小においては学区エリアが広すぎると思う、お友達との交流もかなり少ない。
- 全国のより良い学校を見て、よき所は真似したらよいのでは。小中を一箇所にし図書室など本は2倍になる。
- 体力はあるとはいえ、長距離の通学はかなり負担になります。
- 地域とのかかわりを大切にして学校運営はなされるべきであると考えます。学校が住んでいる地域から遠く離れてしまうのは好ましくないと思います。
- 中学生なら自転車通学でき、多少遠くても通学できるが、小学生は徒歩なのであまり通学に時間がかかるようだと困る。学校選択制度は残して欲しい。
- 中学生は学校から遠い場合自転車通学が認められていますが、小学生はそうはいきません。宮代は細長い形をした地形なので4校(小学校)全てがある程度の距離が保たれているのが理想だと思います。となり町でもそちらの方が近いなら別に町外へ通ってもよいのでは。
- 中学校はいくつかの小学校を統合したほうがよいと思う。9年間も同じ環境というのは将来的によくはないと思う(世界がせまい)
- 通学が困難に成らない配置を考慮してほしい。
- 通学距離が子どもの負担にならないようにしてもらいたい。



- 通学距離が遠くなるのは、子どもが低学年のときは負担になると思う。
- 通学距離が遠くなるのは不安。(安全面、帰宅時間)
- 通学距離が長い子は大変だと思います。
- 通学時間や距離が平均になるように学区の中心にあり、学校同士の距離も同じくらいになれば理想。
- 通学に時間がかからないように(子どもに負担のないよう)進めて欲しい。
- 通学路の安全を考えて適正配置すべきだと思います。
- 低学年にとって通学距離が遠いとそれだけでも負担が大きくなる。なるべく近い方がよいと思います。
- 登校時の集合時間に差がありすぎるのは良くない。学校の場所は通う児童が住む地域のある程度中心にあって欲しい。学校に他の施設機能を併設するとき、人の出入りが多くなると心配。
- 統合するにあたり、通学が不便になるのは困る。働いていて学童に預けているので遠くなるのは困ります。
- 東西2km、南北8kmの縦長の宮代町では再編や適正配置の検討は困難だと思う。
- とにかく遠い、子どもの足で小学校まで30分以上かかるのは安全面を考えても厳しい。又、中学校に行ってもほとんど児童が変わらないのは新しい環境や人間関係の構築にとぼしくなるかと思います。
- どの小中学校も人数が少なく、須賀小ははなれているが、百間小・東小・笠原小で2つ、百間中・前原中で1つでもよい。
- 徒歩で通学できるのが前提の小学校は統合できるとしても、笠原小と東小くらいではないでしょうか。中学校は前原中を百間中と統合するなら通学距離を考えて中間に新設校をつくったらいかがでしょうか。
- 配置換えにより通学が大変になるのは困るが、あまりにも少人数の学校はよくないと思う。もし通学距離が長くなるなら通学バスなどがあればよいと思う。
- パトロールの強化や学校まで遠い子どもはスクールバスなどを使用できると良いと思う。でも20分くらいで学校へいけないのは少し厳しい気がする。学校に駐車場がないのも不便で仕方ない。
- 東小学校と笠原小学校は位置的な面から見ると若干近く、児童が分散してしまう気がする。中学校は今のままがベストだと思う。3校のうち1校がなくなってしまうと通学に不便な児童が多数出てくると思う。宮代は整備されていない道も多いため自転車通学にはあまり適していないと思う。
- 東小は校庭もせまく、近隣の住民からの苦情があるため校庭で児童が遊ぶ時間が限られています。しかもスポ少などの活動が校庭では行われていません。この状態は学校として望ましい状態とはいえません。
- 東と笠原が近すぎる、笠原ばかり特別扱いでおかしい
- 広い土地がとれるところ、中島地区。
- 不審者が多いので、なるべく安全に登下校できる配置がよい。
- 冬になると帰宅時間が暗くなり心配なので通学時間が長くなったときの安全面を考えてほしいです。
- 前原中と百間小を一貫にすればよいと思います。
- まずは安全な登下校と学校生活ができることが第一。学校を減らす前に今後どのあたりに人が増えるのかを考慮したり学区の見直しをした方がよいと思う。(学区の端に学校があったり、学区が変だと思う)
- 宮代町では須賀小だけが中学校も同じ小学校から入学してくるが、笠原小や百間小のように2つ以上の小学校から須賀中に入学するようにして欲しい。
- 宮代町は縦に長いので、通学距離を考慮すると学校の数を減らすことは難しいのではないのでしょうか。

- 宮代町ピアシティに小中一環校を建設して現在の百間小、笠原小、東小と百間中、前原中が合併する形がよいのではないのでしょうか。
- もし、今と別の場所に学校をつくるとなると、今までの学校の良さなどが失われてしまわないか心配です。様々な意見を取り入れて考えていただきたいです。
- もし再編し小中学校を新たに建てるなら町内均等の位置に建ててもらいたいと思います。
- 百間小→前中のように同じ環境で持ち上がっていくのは次の高校以上への適応に心配がある。中学から他小学校と合同になる(選択できる)等の状況があればよい。
- 百間小からは前中(ほぼ)のみだとすべてエスカレーター。競争心が生まれません。そして仲が悪いとそのまま。せめて2小学校が合わさってひとつの小学校に行って欲しい。

## 通学について

- 30分以内で登下校ができないと冬の日が短い時は不審者が心配。今の学校に自然がいっぱいで木登りや虫取りなどできる学校にして欲しい(宮代町ならでは、の学校)。建物ばかりかわっているのではなく、外観に負けない中身を充実させて欲しい。
- あまり学校が遠いと通学の行き帰りで子どもが疲れてしまったり学習に身が入らなくなったり通学途中で事故にあってしまう危険も増えると思うのでスクールバス等の検討も必要ではないかと思います。
- あまり学校が遠い場合、スクールバスなどを出せばよいと思います。
- 安全、防犯面、時間のロス面を考えて通学距離時間はあまり長くならない方がよい。
- 一番は子どもたちが安心、安全に通える学校であって欲しい。
- 今、学校に近いところに住んでいても高学年ともなると帰りが遅いです。遠くになると下校時の安全が気になります。私自身も東小の卒業生なので、正直、なくしてほしくありません。人数が少なければ少ないなりにいい面もあるのでは。
- 今より遠くの学校になるのは嫌です。
- 今より不便にならなければ良いと思う。
- 遠距離通学のために、スクールバスは是非運行してほしいと思います。
- 思い切って1つにしてスクールバスはどうでしょう。
- 親として安心して子どもを学校へ送り出したいので、安全を第一に考えてもらいたいと思います。
- 学級数は多いほうが良いと思っています。今後、そのために通学距離が遠くなる場合にはスクールバスの導入などを検討してもよいのではと思います。
- 学校が遠いので、もっと近くにあるといいなあいつも思っています。
- 学校周辺の道路事情も考慮に入れてください。あぶない道路もたくさんあります。これから高齢者のドライバーもたくさん増えてきます。登校時の児童の列に突っ込まれてはかかないません。見通しの良い環境道路を整備。
- 学校数を減らすことになる場合、学校から遠すぎる子ども対象にスクールバスなど検討してはどうか。日中は町民バスとして動かすなどの効率も含めて。
- 学校数を減らすと通学の面でいろいろ問題が生じると思う。例えば踏み切りをわたってたかなくてはならないなど、地下道はあるが、暗くて通行するには不安。徒歩で通うのにも限度があるし、1校に集中してもそれはそれで問題があると思う。
- 学校はなるべく近くがいいので、このままがいいです。
- 学校までの距離が遠く、帰りに1人になってしまう時もあり危ないので早めの対応をお願いしたいです。

- 学校を合併するとなると通学距離に差が出てくると思います。差をなくすために距離が変わる児童たちのためにスクールバスを出すなどの工夫をして欲しいです。あと、防犯のためです。
- 合併するのであればスクールバスの運行希望。
- 距離だけではなく、学校に行くまでの通学路周辺が安全であるかなど、いろいろなことに配慮して欲しいです。
- ぐるる宮代などのプールや体育館は宮代町のはじめにありますすぎて使いづらいので学校の近く(宮代町の真ん中)にして欲しい。通学で歩くのは長い距離でもよいが、やはり見ているところがあるので20分くらいで歩ける場所にしてほしい。
- 現在、いろいろな事件が多い中、両親が共働きの家庭もあり子どもの安全面を考え、学校により近い方がいいです。立派な笠原小を絶対になくさないで通わせて欲しいです。
- 現在、東小と笠原小の距離が近く、須賀小がやや遠いように思います。各小学校の通学距離にばらつきはないでしょうか。
- 現在の小中学校が合併した場合、子どもたちの通学が負担にならないか心配です。
- 現在より遠くなる場合は車の送迎や電車を利用することも考えていただきたいと思います。
- 子どもが少なくなっていて通学距離、時間もかかるなら充実した学校をひとつとし、通学バスで生徒を集めて集団の学びということもよいと思う。
- 子どもたちが通学するのに負担となる距離は避けて欲しい。(安全面も含めて)もし遠く離れたところになるならスクールバスなども検討して欲しい。
- 子どもたちが何かと事件に巻き込まれる事多いこの時代、子どもたちが安全に安心して学校生活を送ることができるようにして欲しいです。(登下校時の安全も含めて)
- 子どもの数が減少していますが、子どもたちが安全に安心して通学できる学校であって欲しいと思います。
- 子どもの減少に伴い学校を統合するのはよいが、学区が広がるのでかなり自宅から学校まで遠くなってしまいうもいるのでは。
- 子どもの減少により学校が統廃合された場合、あまり通学時間が伸びないように適切な場所に建ててください、
- この問題も重要だが、現在新しい村の前の道路を横断する子どもたちの通学路に横断歩道もなく子どもたちは通学路として活用している。横断歩道をつくる優先順位の方が現在の安全確保のために必要だと思う。
- 再編と適正配置については特に意見はありませんが、もっと近ければ良いとは思いますが。学校まであまり近くないため通学路の安全性の方に問題があります。スクールゾーンや歩道などの安全面をもっと考えて欲しいです。
- 再編により遠くの中学校、小学校になるようでは困ります。宮代町は広いので外れにすんでいると自転車通学になってしまいます、安全面で非常に心配です。
- 自転車通学の許可は距離だけで決めず、もっと臨機応変に対応してあげて欲しい。遠方からの通学は想像以上に大変だろうと思う。
- 児童数が少ないので統合した方が良くと思います。ただ、現在すでに通学に50分くらいかかっているのもこれ以上は無理だと思います。費用等でむずかしいでしょうが、スクールバスのようなものが必要になると思います。
- 小学校に関してはできる限り通う時間を短く、安全な環境で通える方がいいと思います。
- 小学校の合併はしないでください。登校が大変になります。
- 小学校の統廃合は反対です。現在より更に通学時間が延びると下校後の子どもの自由時間はますます減り、友達と遊ぶことも出来なくなります。子どもの健全な成長に遊びは欠かせないと思います。中学校は自転車通学が認められるなら統廃合もいたし方ないと思います。(ない方がいいのですが)
- 小学校は徒歩通学なので距離的に無理のない事が一番だと考えます。(防犯、安全面)

- 小学校までの距離を配慮して家を購入したので、小学校の合併などは慎重に検討して欲しいです。(在学途中に合併して遠くまで通うことになるのは想定外だったので。)
- 少子化に伴いある程度人数を確保するためには遠距離などの通学に支障も仕方ないと思います。町内バスを通学に使えるように考慮したり方法はあると思います。
- 少子化のため、学校の再編も必要なのかもしれませんが、登下校中に子どもが事故や事件に巻き込まれないよう、送迎バスを運行する等、子どもたちの完全を第一にしていきたいです。
- スクールバスをつくったら良いと思います。町の循環バスの利用がとても少ないのでこちらと一緒に対応させていけば利用者も増えるし親も遠くても安心です。
- 地域により子どもの数の差が激しく下校時には一人で帰る事が多い。パトロールの方もいるが、この方々も地域により多い所、少ない所とあり、当方は一人の方が何往復もして下さるので下校時のパトロールの方を万遍なく配置していただけるとありがたい。(当方はほぼ毎日保護者が迎えに行っている状況)
- 中学校では、ここの道路からこっちが自転車通学OKで、あっちはNGでと道路を境になっているが、不審者による防犯を考えると自転車NGのところ申請し理由をきいた上で判断してもよいのでは?と思います。少子化による下校時一人で帰る時間、距離が長くなったのではないのでしょうか。
- 町営バスを活用して登下校しても安全が保てるのなら活用して欲しいと思う。新しく建替えるのならあまり遠くなる子どもにはバスを町中回っているのだから無駄にバスを走らせるより収益も出ると思う。
- 通学距離が長くなる場合は、より通学路の安全性や防犯システム(監視カメラ)、また地域住民の協力、保護者協力を求めていかなければならないと思います。
- 通学の距離が遠くならないよう、なるのであればスクールバス等検討してください。
- 通学路の安全対策をお願いします。不審者情報も多く流れる中、子どもたちが安全に通学できる時間や通学経路の再検討が必要だと思います。中学生においては、部活動の選択肢の減少、部員の減少が心配です。やりたい部活がない中での選択、もしくは部活のために学区外の中学へ通学する子どもがたくさんいる現状を理解していただければと思います。
- 徒歩で集団で通うのですごく時間がかかる。クラスの数が減るのは望ましくないが遠いので実際夏には子どもがあまりの暑さで熱中症になった。仕事でかぎっ子なので対処が遅れば命に関わる問題です。
- 宮代町に越してきて、私も娘もびっくりしたのは、学校の遠さです。子どもの足で30分も歩くのはツライと思いました。雪や真冬や猛暑などで心配。
- 元々学校が住宅地から離れたところにあり通学に30分以上かかる。今後少子化に伴う学校の統合を見据えバス通学も考えて欲しい。

### 学校規模について

- 1学年2学級以下になってしまうと子ども同士の馴れ合い等で向上心が育ちにくいのではないかと。それに伴って学力も伸びるべきときに伸びなくなってしまうのではと考えてしまいます。
- 1学年に1クラスになったら統廃合しても良いと思う。統廃合して教育資源(人材、冷暖房、お金)を集中させてほうが良いと思う。
- 1学年の学級数も減って行事や部活動もさびしくなったように思う。授業以外から学べる機会が減っていると思うので、統合を含め子どもたちの将来について考えていただきたいと思う。又、年々夏が暑くなっているので体調はもちろん集中して授業に取り組める環境として冷房の設置も考えていただきたい。
- 1学級40人は多いです。教室は非常に狭いですし、何より先生が児童をみきれていません。先生にはもっと気分的に余裕を持って児童に接して欲しいです。
- 1クラス35人以上(40人ぎりぎりなど)の人数は適正ではないと思います。学区見直しはあってよいと思います。
- 1クラスに教える教師と学習態度を注意する2人必要。前で1人の教師が教えて進行し、他の教師は見回り個別に指導する体制が必要。そうすれば30~40人クラスでも良い。授業のわからない生徒には見回りの先生が教える又注意していただくことをお願いします。

- 1クラスの人数により補助的な先生がいてくれると良いと思います。
- 1クラスの人数を少なくしてクラス数を多くすれば教員の数も増え、細やかに指導ができるのではないかと思います。小中継続した指導をしていただけるとより充実すると思います。
- 1校あたりの児童数を増やし、スポーツ(チームプレイ)しやすい環境にして欲しい。野球、ソフト、バスケ、バレー等
- 安全で安心できる環境にあること。適度な数の児童がいること(少なすぎる学校生活で学べるのが減る気がする)、仕事を持つ親が子どもを安心して学童など利用できること
- 一学級に先生2人、学級数が増えても少人数にする。
- 今のままでは学級数が少なくてふれ合える友達も少ない。
- 各学校少人数のため、クラブ、部活等の選択が少なくかわいそうだと思う。
- 教師1人できちんと見ることが出来る子どもの人数は、思っているほど多くない。本来は10人程度だと思っている。クラス数はもう少し増やしても良いと思われるが教員の数は十分に確保すべきであり、1クラスの生徒数は20名を超えないで配置して欲しい。また、自然環境が豊かな笠原小は絶対に学校として残すべきである。
- クラス数が増えれば学校全体が活気付くかといえばそれだけじゃない気がします。1クラスの人数が多いという大変そうなので、今の22人くらいがいいと思います。もし東小とし笠原小が合併して、 $44+44=88$ くらいだとして、3クラスにすると1クラス30人学級。決して多くはないと思いますが、20人強で過ごしたので多く感じます。
- クラスは多いほうがいい。子どもが歩く時間はもっと増やした方がいい。都会の子より車移動が多すぎてこの辺りの子どもたちは足が弱いと思う。多くの仲間に出会える機会を増やして元気いっぱい学校生活を楽しんでほしい。
- クラブ活動に寄る、成長期
- クラブや部活など、もう少し子どもが選択できる環境が欲しいと思う。
- 子どもが少なくて授業の内容が多いのなら、少人数で1人の先生でも全員に目がいくようにして欲しい。
- 子どもたちがやりたい部活動をやれるようによろしくお願いします。
- 子どもの数が減ってはいるが、1クラスの人数が30人以上にならないようにして欲しい。先生の目も行き届かなくなってしまうから。少人数で、先生には一人ひとりよく見てもらえると良い。
- 子どもの数が減り、クラス数も減ってきている。小学校の再編で人数が増えればたくさんの友達や先生と触れ合うことが出来てよいと思います。
- 子どもの為には少人数が良いと思う。その方がいじめや子どもの心の問題が見えやすくなると思う。今の笠原小が好きなので現状のままがいいです。
- 子どもの人数が少ないと小学校のうちは問題ないと思いますが、中学で部活、学力面で大きな学校と差が出てしまいます。
- 児童数が増えると、先生方は子どもに目が行くのでしょうか。いじめられていたり等きづけるのでしょうか。
- 児童数について、以前住んでいた地区はマンモス校で1クラス35人ほどの各学年6クラスほど。子どもたちが十分に自分の力を出せないような状況でした。少ない方がいい。学校配置について、宮代町は広いのに学校が少ないと思う。児童数が少ないと学校運営も大変だけど子どもが通える範囲中に学校があるべき。無理に学校の数だけ減らすのは反対です。
- 児童の少ない地域は、合併等を行い大人数でまとまった人数で学校運営を行い、先生の数を増やしクラスを増やし、活気ある学校づくりにしてほしい。

- 視野を広くするためには、少人数校であれば競い合う気持ちがなくなり社会に出て心配。学力も運動能力も向上していかないと。又、保護者のPTAの役割も増えているのも実感し今後大人数校への転校も考えるべきか悩んでいる。
- 小学生は、クラスの数が少なくてもその中でどう学習するか?を学んでいき、中学生は多くの仲間たち(他クラス)と生活、学習を進めていくと感じます。
- 小学校についてはクラス数は少ない(2クラス)が今のままであってほしい。学力を伸ばすには少人数の教育が大切ではないか。ただ数だけで学校を統廃合するほど人数は少くないと思うし(複式学級にするほどでない)、各学校の伝統がある。特に笠原小は建物といい、はだしの学校、自然との共生をはかる教育など町の魅力を発信するシンボリック要素もある。それよりも現在開発中の道仏の宅地や駅前開発などで人口を増やす可能性を探って欲しい。もっと宮代町が子育てしやすい町であることをアピールすべき(自然環境のすぐれた教育、子ども医療補助、保育園の充実、子育て支援センターの充実)
- 小学校は徒歩30分~40分以内がよいと思います。少人数の学校は先生方の負担が大きいかもしれませんが、子どもたちにとっては全員が役割を与えられ頑張らなければならないので良い経験になると思います。
- 小学校は徒歩で通うので数が少なくなってしまうと通うのが遠くなってしまうので無理かなと思いますが、中学校は自転車でも通えるので多少遠くても大丈夫だと思います。中学校では部活もあるので人数が少ないと種類も少なくなかわいそうなので2校がひとつになるのはいいと思います。
- 少子化は仕方のないこと。子どもの数が少ないのなら1クラスの人数を少なく設定し一人ひとりに細やかな指導が行えるようにして欲しいと思います。
- 須賀小では1学級あたり38人です。授業参観でも教室に入るスペースもなく夏は蒸し風呂のようです。先生の日も行き届かずもう少し少人数のクラス編制にしたいです。
- スクールバス等の運行も考え、一校の規模を大きくした方が学校に活気も出て様々な活動機会も増え町の経費の削減にもなると思います。笠原・百間・東は統合できるのでは。
- 全学年3クラスくらいあり、1クラス30人くらいが理想的だと思います。夏の冷房対策を早急に考えて欲しいです。
- 多少学校へ通う距離が遠くても1学年に1クラスしかない学校よりは3~5クラスの学校の方が、子どもにとっても親にとっても様々な活動面で良いと思います。
- 多少通学時間等に無理が出てくるかもしれないが、児童の多い学校にするべき。文科省の決めたことだが、今の勉強の少なさが一番大事なことだと思う。
- 近くの小・中学校が一番良い。徒歩で小学校に行かせているので長い距離は大変だし心配。1クラスの人数も少ない方がよい。その方が先生の日も届くからいじめなどがおきない。
- 中学校の部活動が少なすぎるので中学は近いところは1つにまとめて人数を増やしたほうがよいと思います。
- どの学年も30人以下にするべきだと思います。
- 東小の新1年生は36人くらいのため1クラスでという話でしたが、他の学年は2クラスあり1クラス20人そこそこのに1年生を1クラス36人というのは先生も大変ですし、生徒も授業についていけるのか、先生の日も届くのか心配です。低学年のうちだけでも2クラス制にしてもらいたいです。
- 前原中、百間中を統合し、活気ある学校づくりをして欲しいと思います。部活も縮小傾向にあり残念です。
- 前原中学校は必要ないと思います。百間小学校卒業生は百間中へ進んだほうが切磋琢磨できて部活動も充実してより良い中学生生活が送れると思います。
- 宮代町の人口規模、面積からして中学校は1校で良いと思います。1校とした分、施設の充実、クラブ活動の多様化をした方がよい。
- 宮代町は子どもが少ないわりに学校数が多いと思います。再編等でひとつの学校の生徒、児童数を増やしてほしいと思います。

- 無理な統廃合をせずに少人数でも教師の目の届く範囲、家庭の状況等もしっかり把握し対応できる学校が望ましいです。過激な競争を子ども同士にさせないで欲しい。
- 桃山台の方面から通われているお子さんが遠くて大変そうな気がします。学校人数については多すぎず、少なすぎず3クラスくらいがちょうどよいと思います。
- 幼児教育においては少人数が望ましいとは思いますが、小中においてはある程度の生徒数がいた方が子どもにとっては良いのかなと思います。(質問にあったとおり、行事が盛り上がる、部活や課外活動に幅が出るなどメリットあると思います。)あとは、働く親のためにも学童、保育園の充実をお願いしたいです。物騒な世の中です。安心して預けられる施設も学校同様充実していただきたいです。
- 私は全校生徒1000人、同学年200人という小学校時代でクラス替えのたび全く知らないメンバーの中に入るのが大変だった思い出があります。私の子どもたちは、同学年が50~60人ですが、ほとんど顔見知りでそれもなかなか楽しそうだなとおもいました。

## 施設・設備について

- 運動会などのときに車でいけないのは大変なので、もう少し行事の時に使える駐車場があるとうれしいです。
- エアコンを設置してください、熱中症が心配です。
- 親の世代よりはるかに児童数は少なくなり、活気はないと感じますが、子どもを見ていて友達との交流、先生との関係はとてもよいので安心してしています。建物の劣化の対応を早くお願いします。
- 温暖化が進む中、暑さへの対策をお願いしたい。中学校での部活動が少なく、選択の余地がないのでかわいそう。中学校生活の中で部活動は大きな割合をしめていると思いますが、実際に娘は特に期待も持てないようでやりたいことがないから習い事に打ち込みたいといっています。生徒数が多ければもっといろいろな種類の部活動も可能になると思います。
- 夏季の対策として早急な冷房設備の導入を検討いただきたい。
- 学級数が少なく、1クラスの人数が多いため、教室の中がめいいっぱい夏はとても暑そう。
- 学校施設に他の施設機能を併設することに賛成です。色々な交流をしていろいろなことを学んで欲しいと思います。小中学校を再編した時、遠くになってしまう子どもがいるのが心配です。
- 学校周辺に文化会館など子どもから大人まで学べる場所があるといいです。
- 学校に他の施設となると、セキュリティに問題が出てくると思う。
- 学校の数を減らすのではなく、学校内に施設を設けたほうが良いと思う。学校をへらすことよりも人員を増やすことを考えた方がいいと思う。
- 子どもの数が減少した現在に、障害のある方、お年寄りの方と共有する、学校として子どもの心を育てて欲しい。
- 地震などに耐えられる学校施設
- 児童数減少に伴い、小学校中学校の統合はやらなければならないものだと思います。須賀小中学校のようにひとつにまとめるのはどうなのでしょう。(新しく建替えをするならば)
- 地盤のしっかりした所で耐震をしっかりして欲しい。遠くまでの通学はやめて欲しい。
- 自分が子どもの頃からずっと思うことは、学校へ行くたびにトイレや廊下が汚いです。古物ですと仕方ないことですが、今の時代に合ったものも必要かと思っています。
- 小学校ですがあまりにトイレが臭く、よく入れるなど思うほどです。下水が入り乱れていると聞きましたが本当に災害のとき大丈夫でしょうか、信じられません。
- 小学校と図書館が近くにあると、小学生でも子どもたちだけでいける。(通学路で使用している道路は子どもだけでも安全に行けるため)

- 小学校の配置は特に問題はないように思いますが、やはり町内の古い校舎には少し不安を感じています。大きな地震、竜巻なども近年多くなり、夏場は暑く、冬は寒いというのも昔と随分変化しています。もしものことがあった場合に地域の方も困らないような設備がそろそろ必要ではないでしょうか。百間中学校は地域の家との間が近く、生徒の数の割りにせまい気がしました。
- 小学校を再編することで学童保育も整備しないと困る保護者がいると思う。放課後児童教室を行っていただけると助かります。
- 須賀小中とほとんど入れ替わりがないので深い人間関係を築けるが、良くない面も多いと思う。震災などで学校が非難所となったときの設備も考えた方がよいと思う。
- 盛夏が続くなか、エアコンの設置は子ども、教師の集中して学習する力には必要と考えます。適切な使用や大宮市などモデルとして早くにエアコンの設置をお願いします。
- 建物がとても古いため大きい地震が起こったときに心配。トイレがとても汚いし、ドアが壊れているので早く直して欲しい。夏は異常な暑さなので冷房をつけて欲しい。
- 他の市町村で公民館と一緒にいる学校を見たことがありますが、地域のコミュニティが併設されると様々な年代の方々と触れ合う事ができる。福祉や子どもと限定しない方がよいと思う。公民館は福祉や子どもも利用するので。
- 誰もが入ってきやすいようにしてしまうと不審者も入ってきやすいのでよく考えて作ってください。・子どもは国の宝です。将来によりよくつなげられるように勉強しやすい環境をお願いします。
- 地域全体で子どもを守りながらよりよい教育のできる施設を望みます。
- 地域との連携、共存に関しては生徒達があくまで落ち着いて学習できるような配慮しなくてはならないと思います。
- 地域の方との交流しやすい所に配置し、高齢者とのふれ合いなど福祉サービスを併設することによりできる事を増やし、今までにない新しい環境づくりをしていただけたらいいと思う。
- 小さい頃からたくさんの人の中にいるという環境に慣れてほしいと思います。
- 駐車場、駐輪場の確保をして欲しい、通学路の安全
- 机、椅子、冷暖房設備が私たち親世代が小学校に通っていた頃とまったく変わっていない。子どもたちが学習できる設備を時代にそって整備していただきたい。
- トイレを洋式にして欲しいです(子どもの希望)
- どう言う意味ですか。わかりやすいように。
- 夏の水道の件もありましたし、学校が老朽化し子どもの数も少なくなるので小中学校の数を減らして新しく建て直す方向でいいのではないかと思います。遠い児童には自転車を許可するとか、送迎ありとか。
- 熱中症対策のため、冷房設備は絶対必要(あるとないのとでは、学力の差も必ず出るとされる)。冬は空気清浄機や加湿器などウィルス対策もするべき。
- 年数がたち老朽化した学校の建替えは仕方ない事だと思いますが、それにより子どもたちの通学の距離が長距離になってしまう場合もあるのかなと心配です。
- 息子の通う笠原小では、ひだまりサロンやすだちの家の利用者の方々とのふれあいや裸足教育、手づくりの卒業証書など特色のある教育活動が行われており、この環境を是非守ってほしいと思います。
- 冷暖房設備について、県立高校では設備が整っていたのに小中学校は市町村任せ出学ぶ環境に差があると思う。将来建替えるとき、他の市町村と同じようにして欲しい。
- 冷暖房設備やセキュリティ対策は今すぐにも必要だと思います。できればどの子も30分以内の通学ができるのが理想です。理由のひとつに下校後の交流が難しい子には学校での友人関係にも影響が出るためです。



- 私が卒業した小中学校では、学校の門のところに守衛室があり、学校へ出入りする人はすべて守衛さんが対応していました。(保護者はぬき)今の時代は不審者が多いので、その点は配慮ができないものでしょうか。

## その他の意見

- 中学校が同一小学校から持ち上がりだと競争意識が減ったり、良いも悪いもおさなりにになりがちで大事な中学生活に刺激が少ない。海外も多くは中高一貫だと思うが、日本ももっと中高一貫を増やし、高等学校の中の中等部、即ち大人への仲間入りの第一歩という意識を持たせて欲しい。イジメや性関係等だけ大人並みで中身の伴わない中学生が多い、もっと人としてしっかりした考えを持てる環境が必要。
- 「宮代町公共施設マネジメント計画」では、小中学校の統廃合をはじめ様々な公共施設の再編が検討されている。しかし、本計画の策定にあたっては財政面からの検討が多く、町民の生活実態を想定、あるいは創造する視点に欠けているように思われる。本アンケートは小中学校の適正配置に関するものであり、町内の公共施設全般についてや当該計画の是非についての議論は別の機会にゆだねるべきでであると思うが、上記マネジメント計画が小中学校を核としたコミュニティの再編を明記しているなど小中学校を非常に重要視している点、さらには実際的なコミュニティ・社会においても当該施設が重要な役割を担うと思われる点などからも小中学校の適正配置については丁寧な検討を行ってほしい。  
本アンケートでは小中学生の生活がどのようにあるべきかを保護者に問うている。本来、そのような検討は教育やコミュニティの専門家から専門的知見を受けて検討すべき内容も多いのではなかろうか。上述のように公共施設マネジメント計画が財政面からの検討に重点を置いていることから、町民の生活や教育が比較的軽視される危険もある。貴教育委員会においてはその専門性を十分に発揮した議論を期待したい。たとえば、通学路は単なる距離の問題であろうか。そうではなく通学途中の社会的・自然的な事象との触れ合いを通じた貴重な学習の場でもある。たとえば校舎という建築物は勉強ができれば良いのであろうか。そうではなく、生徒・児童の自発的で創造的な活動を支える大切な空間なのである。  
既知のことと思うが、宮代町は斎藤甲馬元町長の教育に重点をおいた施策が現在においても大きな基礎を作っている。町外・県外からも笠原小学校に興味を持ち子どもを入学させたいと考えている親(特に建築関係や教育に熱心なインテリジェント層)が少なくないと聞く。これは良質な建築ストックである笠原小学校やそのユニークな教育方針によるものに負うところが少なくない。  
町の基礎を築くことのできる小中学校教育とそのための良質な施設、それを担う人材を軽んじず、「人口減少・少子高齢化なのだから仕方ない」という世の趨勢に流されない宮代町の施策、特に教育現場の構築を期待するところである。  
そうすることで、人口減少・少子高齢化が止むを得ないわが国の近い将来において必要な持続可能な豊かさを実現する姿を宮代町から提示することにつながるであろう。
- 宮代町の中の学区がフリーなことで他の自治体では実現できないメリットを実感している。町民の声をもっと積極的に聞いて明らかにしてください。それぞれ特徴の違う学校を選択して通い「よかった」と思っていることが、上の質問項目ではあまり反映できていないと思います。特に、笠原小を選択して得られる「満足」は、各質問の選択肢とはマッチしていないため、表現したいことは表現できていません。それぞれの選択肢が、何か偏った見解の方々だけで作られているようでどう答えてよいかわからず戸惑いました。再度、修正されたアンケートを出していただきたいです。毎回審議会を確認している者です。「配置変えありき」「結論ありき」の審議会ではないと記録に明記されております。しかし本アンケートの1/3が人数、1/3が距離、1/3が設備に終始しております。  
「子どもたちにとってよりよい教育環境をつくるため」と題した本アンケートですが、教育におけるハード面のみでの設問となっております。ソフト面については一切触れられておりません。このアンケートは再編ありきの設問、父兄に意見を聞いた既成事実をつくるためのものです。もし、審議委員の方々がハード面について重きを置いて本アンケートの結果を求めるのであれば、「お子さんの通学している小・中学校がなくなる可能性があります。今回答えた設問は重要だと思いますか?はい・いいえ」という設問を最後に作ってください。(ほとんどの人はいいえでしょう)。前提条件を提示しないことは詐欺に等しい、斎藤甲馬町長は言いました、「大人の言っていることを疑え」父兄はアンケートを作った方々を疑います。
- 5時くらいまで校庭で遊ばせて欲しい
- PTA活動など親の負担が多い、働いている人が多いのだからもう少し考えて欲しい。
- PTAをなくして欲しい。仕事と家事が忙しいのでPTAに参加できない。
- 朝の旗当番はパトロールの人がやればいいと思う。
- 今現在、子どもたちは充実し学校へ通っている。

- 今共働きの家庭が多いと思います。仕事が休めず子どもを預けられる(病気のときなど)人もなく困ることがあると思います。医者などの人員も大変なのもわかりますが、少しでもそういった場所があるとあんしんできるのではないのでしょうか。
- 今の小学校のやり方は気に入っているのでできれば変わらないでもらいたい。
- 今のところ統廃合は不要と考える。もし遠距離となり自転車通学となる場合を考慮し歩道、自転車専用道の整備が先。
- 今のままでよいと思う。
- 今のままでよいと思う
- 学童保育所の開所時間、閉所時間が保育園と30分も違うためかなり困惑しています。町にどのように働きかけたら良いのかもわからず、5年間も感じています。
- 笠原小学校は特色のある建物、自然の中で学べる環境、はだしで過ごすことによる体力向上など、特色ある大変良い学校だと思います。学区外からわざわざ通ってくる生徒も少なくありません。どうか町の財産としてとらえ後世まで残してくださいませよう願っています。
- 笠原小と東小の児童数が少ないと聞いています。できれば、合併してひとつの学校にした方がよいと思います。特に東小は古いそうなので笠原小にした方がよいのでは。
- 笠原小の自然とふれ合える環境、「陽だまりサロン」「すだちの家」のような地域の人々とふれ合える環境はとても素晴らしいと思うので、福祉や学童保育、図書館など、施設の併設または近場にそういった施設を集中させられる配置が良いと思います。
- 笠原小はなくさないでほしい。珍しい校舎だし、福祉にも併設しているため。
- 笠原小は本当に恵まれた環境の学校で子どもたちは低学年のころから愛校心があって誇りに思っています。宮代の子たちが皆笠原小に来れたらと思います。中学校に行ったとき、普通の校舎が圧迫感があって息苦しいね、と親同士で言いました。笠原はどの窓からも緑が見え、風がぬけるのです。1人でも多くの子にここで一生の思い出になる6年間を過ごしてもらいたいです。
- 笠原小は珍しいつくりなので残して欲しい。授業内容、学校行事もよいと思います。
- 笠原小を残して欲しい。
- 数が少ない分充実させて欲しい
- 学校選択ができるのも良いと思いますが、やはり、決められた学区の学校に進むほうが安全でもあると思うし、学校の人気格差もなくなるのでは。(東小なのに笠原小へ行く人も多いので)
- 学校の再編に伴い、在校生等の指定の上履き、体育着等買いなおしをさせることのないようにして欲しい。保護者用の広い駐車場を用意して欲しい。
- 学校の近くに病院があつたら助かる(須賀小ですが内科がないので帰ってから病院に連れて行くとすると兄弟もいるので大変です)。
- 給食室で作って子どもたちに出来たての給食を食べて欲しいと思います。
- グローバル化に伴い、短期間の交換留学制度があっても良い。
- 現在、学校の先生方には限られた条件の中で精一杯のことをしていただいていると感謝しています。あまり負担が大きくないように授業や生徒指導以外の事務仕事などは他の方にやっていただけたらと思います。
- 子ども達は一日を学校で過ごす時間が長いので悩み事や世間話を含め気軽に相談できる環境が必要だと思います。家族だからこそ話せない家庭の悩みなど保護者が学校で当番制などで窓口を作ってあげられたらいいなあと思う。
- 子どものためになることをいろいろ考えていくのは大切なので、こういうことはいい事だと思います。

- 子どもの人数が多い場合は自由学区もすばらしいが、子どもが減少しているなら自由学区は廃止して欲しい。せっかく学校の近くに家を持ったのに、同じ学区内に児童がいるのに自由学区のせいで学校がなくなるのは納得がいかない。
- 子どもの人数が少ないことにより、PTAなどの親の負担が多くなるのは仕事を持つ身としてはかなりつらいです。
- この意識調査は専門用語ばかりだし、何故調査をするのか、この調査がどんなふうにかされるのかまったく理解できません。もっとわかりやすく詳しく説明すべきだと思います。
- このようなアンケートをやってほんとうに取り入れられるのかどうか。先生たちは子どもたちよりも自分たちのことを考えていると思います。
- 自然災害が年々増しており、子どもたちが安心してのびのび成長できるようにと私も日々思っております。
- 市町村関係なく学校に通えるようになるといい。
- 市町村の区別なしで近くの学校に行けるようになって欲しい。
- 実際に子どもたちが減っているのは仕方ないことです。もう少し宮代町にお子さんのいる家庭が増えればいいのですが。
- 実施される予定や現況をいつでも確認できるようにして欲しい。(住環境が大きくかわるため)
- 自分の通った学校がなくなると思うとさびしいですが、そうしなくてはいけない理由もわかるので複雑な気持ちです。
- 集団(体育)は1箇所、日常の授業は町内単位できめ細かく。学校(集団)と分校(日常)に分けて考える。学校長等は1人でよく、サポート(サポーター)を活用して、個別指導に近い授業を期待する。
- 小→中が子どもたちが全く変わらない学校もあり、よくも悪くも同じ交友関係が9年間続くこととなります。部活動も少ないので町の中学部活動をまとめて選べる部活を増やしたり、つまり部活は学校ごとでなく全学校での活動としてはどうか。毎日でなくても、
- 小学校の数を減らさないでほしい
- 少子化で小中学校のクラス数が昔とくらべて大変少ないが、少ないながらも廃校とか合併はやめて欲しいです。今のまま続けて欲しいです。東小がなくなるという噂をききました。私の母校でもある東小がなくなるのは悲しいです。
- 小中学校が合併せず、今まで通りの方が理想です。ふれ愛センターも子どもたちやお年寄りの憩いの場となっているのでなくさないで欲しいです。
- 小中学校の現状を考えるにあたり、こういうアンケートを実施していただきありがとうございます。再編を考えるにあたり、学区の見直しをして欲しい。現在、通学する学校を選ぶことが出来るので、例えば隣に住んでいても別の小学校に通うパターンもある。地域としてのまとまりもなくなるし通学班の割り振りも困難になっているので。アンケートの結果は、まとめて是非公開して欲しい。
- 小中学校の再編以前に、昔の先生に比べ今の先生は生徒の数が減ったにも拘らず子どもに関わらなくなっていると思う。先生もゆとりの人なのか、自分ばかり忙しいのは嫌だと思っている人が多いと思う。出来れば働きたくない先生があまりに多い。今の状態があまりにひどいのにどう変わるのか知りたい。
- 小中学校の再編を考えるより先に町は過疎地ではあるまいし若い世代がすみやすい環境を整えるべき。よそからこの町に家を建てるのは親族がいらない限り難しい事が多いし、公立保育の園料が高い。少子化というが、よその市町村を見習って子どもをたくさん産みやすい環境を整えてみては?通学距離が長ければ長いほど親としては心配。
- 少人数のクラスで、先生が2人クラスにいるとまとまりやすいのではないかと。教師の質を高めるとよいと思います。
- 須賀小学校の学童クラブだけ何故NPOなのですか。父母の役員も負担ですし、保育料も他より割高だと聞きます。改善できませんか。

- 須賀小は建物が古く学校自体をなくすようなうわさを聞いたことがあります。須賀小は古いだけではなく町内でも伝統のある学校です。私の親の親の代、わが家は四代にわたって須賀小です。新しく建替えることには賛成ですが、絶対に学校はなくさないでください。
- 進めていくにあたっては多くの方法で住民の考えを聞くべきだと思います。(議会、住民説明会等)
- 全学級に副担任がいるといいと思います。
- 選択自由制をやめた方がいいと思います。
- 卒業した子どもたちのためにも、思い出のたくさんつまった母校はなくさないで欲しいと思う。
- 確かに昔と比べ子どもの人数が減っている為。クラブ活動など種類が限られてしまうのは仕方ないことだと思います。でももう一度子どもたちの意見を聞いてみて新たな活動(クラブなど)が出来ても楽しいひとつなのかと思います。
- 違いますが、PTAや本部役員が親にはかなりの負担になります。正直、生活がかかっているのに、役員関係はやりたくないです。
- 町内で学力の差がついたり、学校によって遠足がなかったり、学校によって差がありすぎる方が問題だと思う。先生の目も30人くらいしかいないクラスでさえ行き届いているのか疑問。
- 町内にある図書館や児童施設等の公共施設は現在一定の地域に偏りがあって近隣にも造る等して均等配置にして欲しい。
- 適正配置により笠原小がなくなるなら残念です。
- できれば今のままがいい。
- 出来れば今までどおりに学校へ通わせたいです。
- 共働き家庭が増え、学童保育の拡大
- 人数の少ない学校はさびしいが、合併等で低学年が遠距離に登校するのは負担があり安全を確保するのが難しいと思います。長期的に子どもを増やすには町が中学卒業まで医療費の助成を行っていることをもっとPRしたほうがいいと思います。町外に住む子育て中の家庭が制度を知れば引越し先候補に宮代町を考えるということもあるのではないのでしょうか。
- 旗当番で保護者が1人でたっている所があるが、最低2人いた方がよい。
- 東小と笠原小の合併の噂を耳にしましたが、わが家はどちらの学校に通うにしても距離があり通学には犯罪などの心配があります。現状のままの通学で合併はやめて欲しいです。
- 東小と笠原小は近く、それぞれ生徒数が少ないため合併することもやむを得ないと思う。
- 東小と笠原小を合併させて百間中を使うと聞いていますが、百間中も大分古いので新設して欲しいです。須賀小中のように小中一貫の新しい校舎ができたらいいと思います。
- 必要なことだと思います
- ひと昔前とちがいが子どもの教育、躰に子どもたちに主導権があるように感じます。もっと大人の意見を取り入れた方がよいのではないのでしょうか。
- 毎年のクラス替えはどうなのかと思います。せめて2～3年に1度が理想かと思います。
- 町の中心地の百間中学校と自然の中の笠原小学校の存続を望みます。
- 町の中心に位置し特色ある笠原小を残し、老朽化で建替えが必要になった場合も今の建物の雰囲気をおおさないようにしていただきたいと思います。
- 宮代町の小中一貫(的)教育は良いと思います。中学に入って落ち着いて勉強できる環境にある、学校数を変えず宮代町の人口を増やす(若い人たち)政策を考えるべきだと思います。

- 宮代町は、小中学校を選べることはとても良い事だと思います。小学校が4校あり、平均的に児童がいるねと思います。ただ、学校規模により先生の数が増やせないのはどうかと思います。絶対的に先生の数は足りません。(教員希望者は多いはずなのに)正職員人数を増やすべきだと思います。先生だって病気や怪我で休むこともあります。出張など先生が不在なとき勉強が遅れることも多くあります。税金は先生を増やすことに使うことが大事だと思います。
- 宮代町は縦に長いためまとめるのは難しいのではないのでしょうか。私は百間小学校の卒業生なのでなくなるのはさびしいです。
- 無学年式、習熟度別の教育が受けられるように。
- 矛盾しているかもしれませんが、閉鎖的な学校にはなってほしくない。でもセキュリティもしっかりして不審者対策もしてほしい。通う学校は自分で選べるようにしてほしい。
- ゆとり教育以来授業日数が足りないため、学校での授業は1日1単元を終え定着させるのは家庭や宿題に託している状態です。共働きの家庭が多くなかなか学習までを家庭で見るとは難しいです。一人っ子や働いていない母親の家とでは学習量の差をすでに感じています。子どもの数が減ったら減ったでいくらでもやり方はあります。もっともっと少人数にして不足している学習時間を埋める工夫をしてください。
- ゆとり教育が見直される中で、人数の関係での小学校数を減らしてしまうとますます勉強についていけない子も増えてしまう。かけ足での勉強、私が子どもの頃とは違いますね。塾に行くことが前提としているかのように感じます。子育てしにくい環境です、お金がかかります。
- よくわかりません
- よくわかりませんが、子どもたちがのびのびと笑顔で過ごしてくれたら親としてありがたいです。
- 私は東小、笠原小と通学しました。その頃から子どもの数が少なくなったら…という話はあったように思います。それから30年近く子どもを増やすために公園や病院(小児科、耳鼻科、皮膚科)ができるでもなく、あの頃とほとんど変わっていない環境にはとても残念です。でもこの町にはいい所がたくさんあるので世帯数の増加につながるように努力し、よい方向で学校を維持していただきたいと思います。

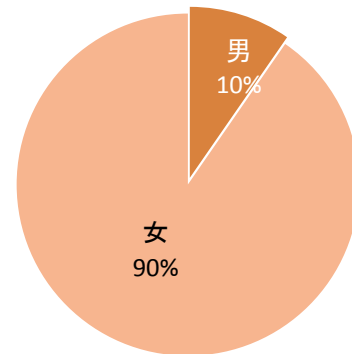
## 意識調査集計結果(中学生保護者)

◆実施期間 : 平成26年2月12日(水)～ 2月20日(木)  
 ◆配付数 : 718件(家庭単位)  
 ◆回答数 : 617件(回収率 85.9%)

### I 回答者自身について

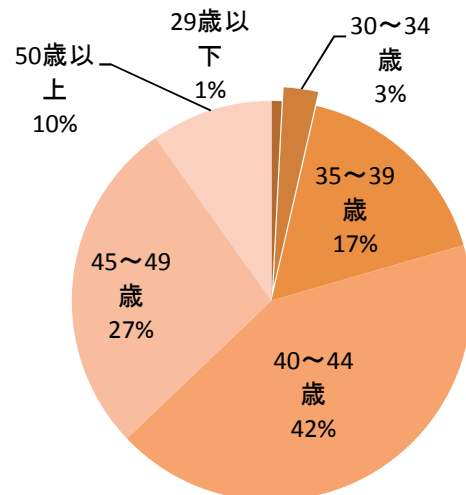
#### 【質問1】 回答者の性別

選択項目	回答数
ア 男	59件
イ 女	554
無回答	4



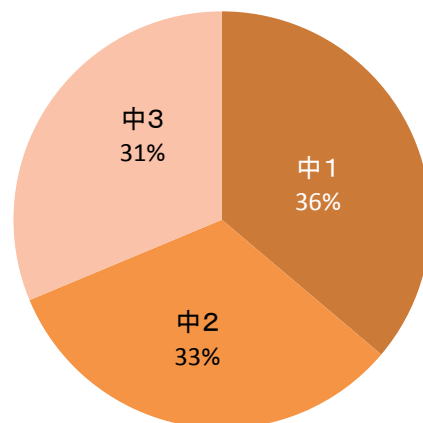
#### 【質問2】 回答者の年代

選択項目	回答数
ア 29歳以下	5件
イ 30～34歳	17
ウ 35～39歳	103
エ 40～44歳	258
オ 45～49歳	166
カ 50歳以上	60
無回答	8



#### 【質問3】 子どもの学年(複数回答あり)

選択項目	回答数
ア 中1	230件
イ 中2	207
ウ 中3	199



## Ⅱ 通学路・通学区域について

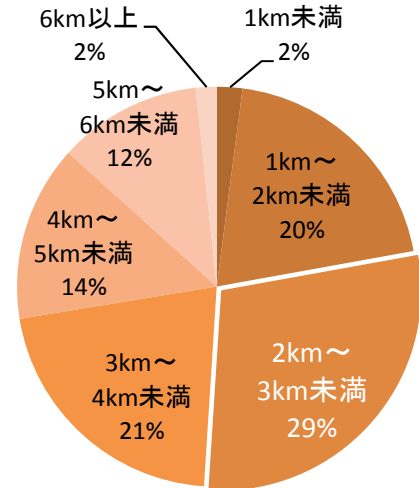
### 【質問4】現在の通学手段

選択項目	回答数	割合
ア 徒歩	380件	62.1%
イ 自転車	223件	36.4%
ウ その他	9件	1.5%

中学校での「自転車通学」は学校ごとに定められていて一律ではありません。「その他」は、電車利用がありました。

### 【質問5】「現在の通学距離」と「上限」

選択項目	現在	上限
ア 1km未満	176件	11件
イ 1km～2km未満	199	107
ウ 2km～3km未満	118	154
エ 3km～4km未満	30	114
オ 4km～5km未満	7	76
カ 5km～6km未満	5	62
キ 6km以上	8	9



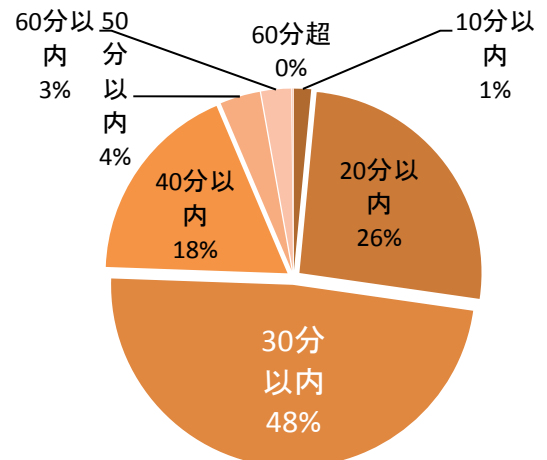
通学距離の上限

#### 【通学手段ごとの分布】

	1k未満	1～2km	2～3km	3～4km	4～5km	4～5km	6km以上
徒歩	10	80	102	59	45	36	2
自転車	1	25	52	54	30	25	2
その他	0	1	0	1	1	1	5

### 【質問6】「現在の通学時間」と「上限」

選択項目	現在	上限
ア 10分以内	162件	8件
イ 20分以内	313	137
ウ 30分以内	53	257
エ 40分以内	9	96
オ 50分以内	2	19
カ 60分以内	0	14
キ 60分超	0	1



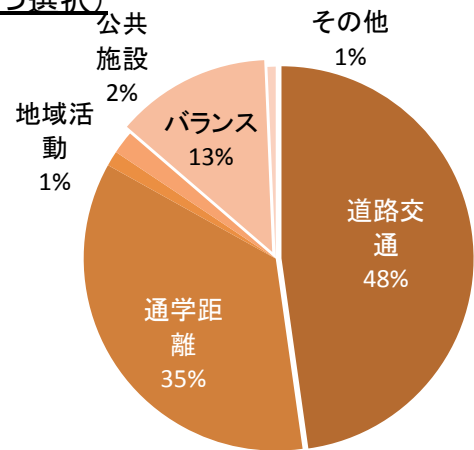
通学時間の上限

#### 【通学手段ごとの分布】

	10分以内	20分以内	30分以内	40分以内	50分以内	60分以内	60分超
徒歩	7	89	159	61	10	10	0
自転車	1	45	92	36	9	4	1
その他	0	2	5	0	0	0	0

【質問7】 通学区域の設定にあたり、優先すべきこと(2つ選択)

- ア 道路交通環境や、災害時を考慮して安全面に配慮する
- イ 学校までの通学距離があまり遠距離にならないよう配慮する
- ウ 自治会や祭りなどの地域活動のつながりに配慮する
- エ 駅など公共的施設の配置に配慮する
- オ 一部に集中しないように、地域間、学校間のバランスに配慮する
- カ その他



「カ その他」の主なもの

- ・街灯が少ない、薄暗い場所は避ける
- ・帰る方向に生徒数が多いかどうか、人通りの多い所
- ・学校の風紀
- ・学校の面積を広く、ゆとりあるものに、多少の駐車場も出来るとありがたい
- ・生徒数が多すぎず、少なすぎない
- ・民家だけの道路は結構危険なので、コンビニ等がある道路が望ましい。

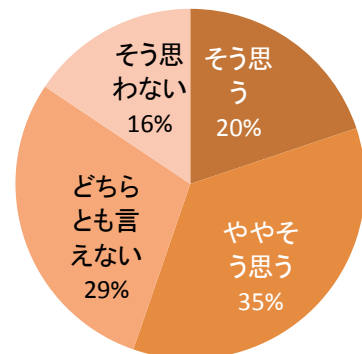
生徒の通学の安全に関する項目が最も多くなりました。  
 問5、問6でたずねた「距離」「時間」に関わらず配慮が必要な事項であることが判ります。  
 次に多かったのが「バランス」で、これは自由意見でも各校の配置バランスについて多くの意見をいただいています。



【質問8】 児童・生徒数減少による影響について

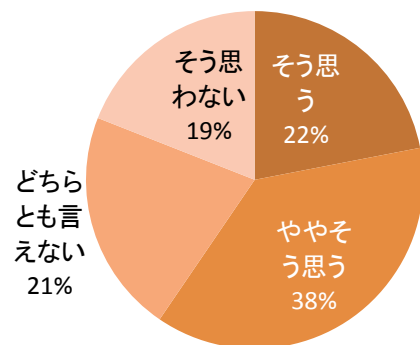
- ① 仲間との交流により切磋琢磨したり、刺激し合う機会が少なく、競争心や社会性が育ち難くなる

そう感じている保護者が過半を占めました。「多いほど良い」ということはありませんが、ある程度の集団が必要だということがうかがえます。



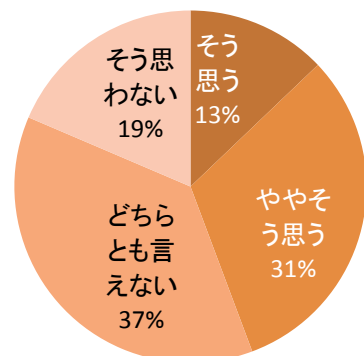
- ② 運動会の種目や音楽の合奏、合唱など、集団での活動への取組にくくなり、迫力にも欠ける

小学校に比べて「感じる」層が多く表れました。種目、行事が高度化し本格的になるためと考えられます。



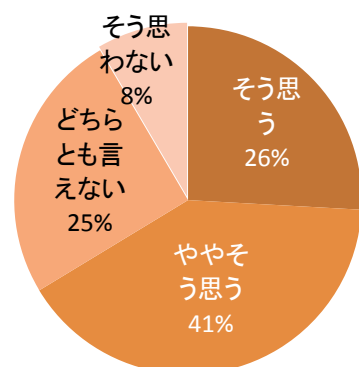
- ③ 多くの友達の見かたや考え方に触れながら学習を進めたりすることがしにくくなる

「取り組み方」「工夫次第」ということでしょうか、「どちらとも言えない」がもっとも多くなりました。



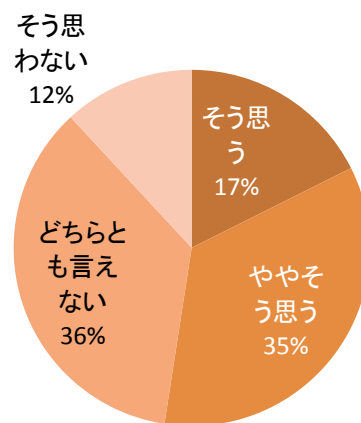
- ④ 限られた集団で育つため、子どもたちの関係や集団の中での役割、位置が固定化される

回答者全体の約2/3が感じている項目となりました。また、「位置、役割の固定化」は、自由意見でも見られています。



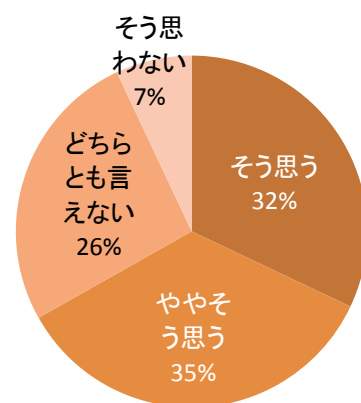
- ⑤ 先生の数が少ないため、校務に追われ子どもたちとふれあう時間が減る

半数強を感じる一方で、「どちらとも言えない」層も多くなりました。教職員からの回答では、感じている層が8割弱に上っており、保護者には実感しにくい部分のようです。



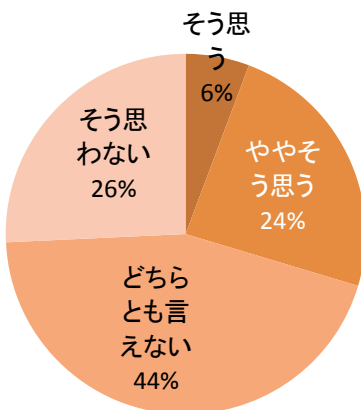
- ⑥ PTAなどの活動で、保護者の役割・負担が増える

約2/3が「負担増」を感じているようです。小学生保護者（約3/4）と比較すると少なくなっています。



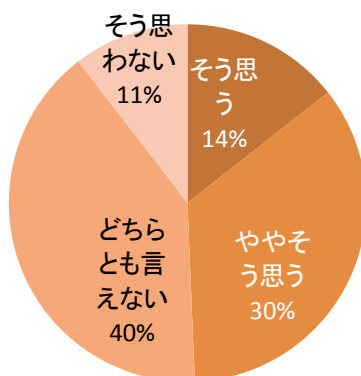
- ⑦ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や、情報を得たりすることが難しくなる

「どちらとも言えない」「そう思わない」が7割を占めており、子どもの数との相関は薄いようです。今日はパソコンや携帯電話が普及するなど情報を得る方法がたくさんあるためかもしれません。



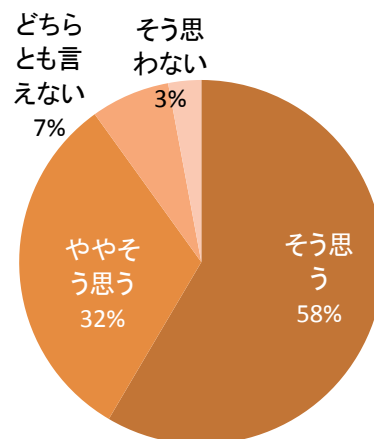
- ⑧ 学級数の減少により先生の数が減るため学校運営が難しくなる

「感じる」層は半数弱です。一方で教職員の回答では、小学校で61%、中学校で77%が「思う」と回答しています。特に、中学校では配置教員数と教科の関係が指摘されています。



- ⑨ 部活動の種類が少なくなったり、活動内容が縮小したりする

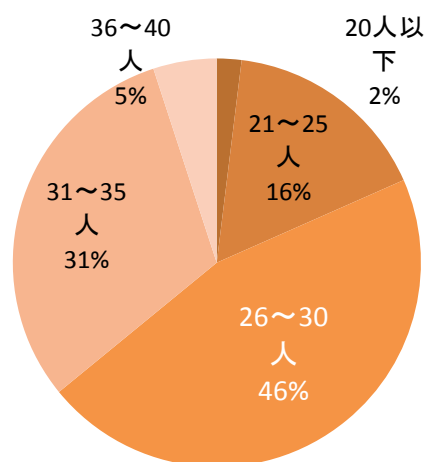
回答者全体の9割が実感している項目となりました。また、自由意見欄でも部活動の種類、人数に関する意見が多く寄せられています。



【質問9】 望ましい1学級あたりの人数

選択項目	回答数
ア 20人以下	12件
イ 21～25人	101
ウ 26～30人	281
エ 31～35人	190
オ 36～40人	31

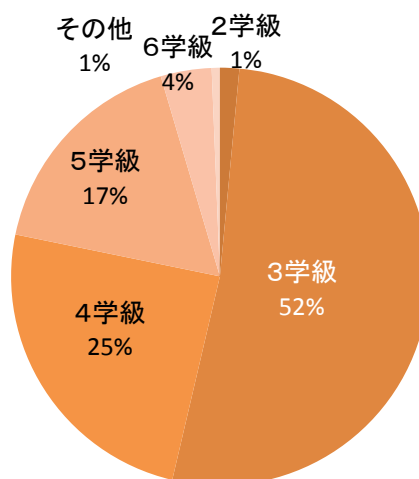
現在の町立中学校の1学級あたりの生徒数は全校を均すと「32人/学級」です。回答と比較すると概ね現在の学級人数規模を望んでいることがわかりました。但し、学級人数規模は学年生徒数により大きく変化する場合があります。



【質問10】 望ましい1学年あたりの学級数

選択項目	回答数
ア 1学級	0件
イ 2学級	9
ウ 3学級	319
エ 4学級	150
オ 5学級	105
カ 6学級	24
キ その他	4

「1学級（単学級）」という回答はなく、「3学級」がもっとも多く、「4学級」がこれに続きます。問9とかけ合えると、一学年あたり100～120名程度がひとつのめやすとなるようです。



【質問11】 【問10】1学年あたり学級数の選択理由(2つ選択)

- ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる
- イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える、相性が合わない場合に環境を変えられる
- ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う機会に恵まれる
- エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大になる
- オ 他の学級との交流や競争で、互いを高めあえる機会がある
- カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる
- キ その他

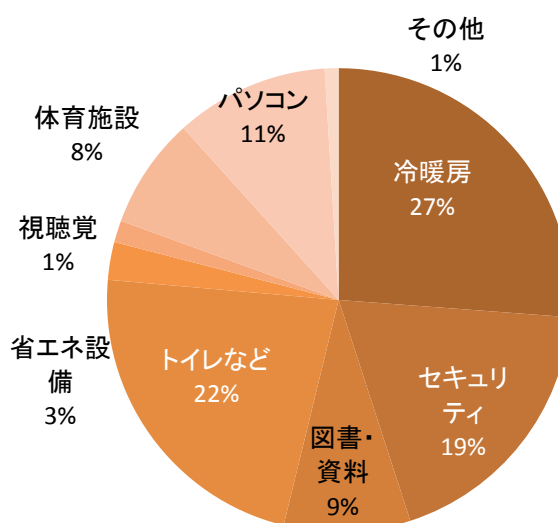
【学級ごとの選択理由(クロス)】

	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	3	25	3	1	1
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える、相性が合わない場合に環境を変えられる	3	206	89	57	17
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う機会に恵まれる	5	155	56	37	5
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大になる	1	69	51	43	12
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高めあえる機会がある	3	113	43	27	9
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	0	32	47	40	5
キ その他	0	5	2	0	0

いずれも「クラス替えによる環境変化」と「いろいろな役割りの経験」を理由としてあげ方が多くなりました。  
また、「5学級」以上の回答では、「学校の活気」が理由として挙げられています。

【質問12】 学校の施設・設備のうち、優先して整備した方がよいもの(3つ選択)

選択項目	回答数
ア 冷暖房設備	428件
イ セキュリティ対策	308
ウ 図書・資料	144
エ トイレなど衛生設備	369
オ 省エネ設備	43
カ 視聴覚設備	25
キ 体育施設	127
ク パソコンとネットワーク環境	175
ケ その他	16



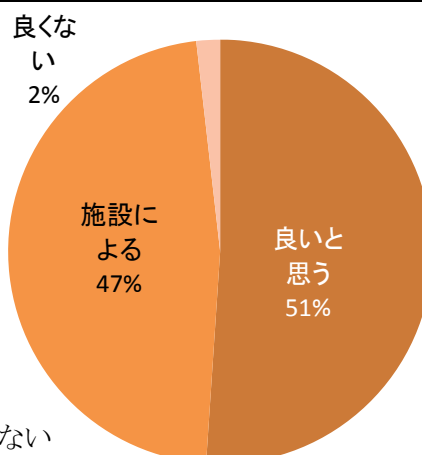
エアコンに対する要望がもっとも多く、トイレ、セキュリティがこれに続きました。

「その他」では、「校舎老朽化対策」「給水機」「特別教室の充実（音楽室、家庭科室、科学実験室などの教材、器具購入等）」などが挙げられました。

#### IV 地域との連携、共存について

【質問13】 学校と地域で利用される施設との連携・共存

選択項目	回答数
ア 良いと思う	308件
イ 施設による	284
ウ 良くない	11



「ウ よくない」理由の主なもの

**安全面**

不特定多数が校内に立入るのは安全とはいえない

学校関係者だけなら不安も少ないが、一般の方の出入りでセキュリティが不安

**施設管理**

学校は学校教育に特化すべきだと思う

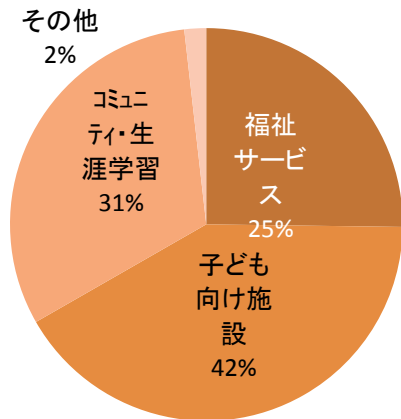
いろいろな人がいると勉強に集中できない。その他の活動は学校外ですれば良い

「施設による」という回答も含めると、多機能化に対する理解は高いようです。「よくない理由」として寄せられた点は、これからの意見交換などにより工夫して解消することで、児童生徒、地域の双方が、より活動しやすい施設として運営できるのではないのでしょうか。

【質問14】 学校に他の施設機能を併設する場合  
に考えられるもの

- ア 福祉サービスのための施設  
(交流サロン、高齢者施設、障がい者施設 など)
- イ 地域の子どものための施設  
(児童館、学童保育、保育園 など)
- ウ 地域のコミュニティや生涯学習のための施設  
(公民館、図書館 など)
- エ その他

「エ その他」の主なもの  
プール



「福祉サービス」「子ども向け施設」「生涯学習施設」ともに地域における必要性を感じられているようであり、身近な場所での交流とともに、高齢者や子どもの居場所づくりへの期待がうかがえます。

適正配置全般

- 1つの町にたくさんの小中学校は必要ないと思う。いろいろな地域から子どもが集まり交流がある方が多いと思う。(協調性・自主性・仲間意識・学習面において)、現在の宮代のように通学区も希望制でよいと思う。通学路の安全確保が第一。有償でも付き添いが必要と思う。併設は保育園などはやめた方がよいと思う。集中して学習できないと思うので。
- 安全で充実した教育が受けられることを優先する、少人数ならではのメリットやアプローチ方法を考えた指導を考える。学校同士の連携や小中一貫教育なども考えて活気のある活動のできるようにする。施設を併設することにより建物をうまく利用できるようにするがその場合は安全面に十分注意して欲しいです。
- 学区は永久的なものでなく、時代が変わって良いと思います。通学距離が増えてしまう場合、町の現在運行中の循環バスなど利用するのも良いかと。人数によって集約して施設の充実を図れたらよいと思います。
- 学校が老朽化してきているので仕方がないことだと思いますが、通学が大変になったり、子どもに負担がかかるような事は避けて欲しいと思います。
- 学校を1箇所を集めることは学校ごとの特色と目指したはずの宮代と逆行していて場当たりの思ってしまう。通学、勉強は小さな子ほど近距離で少人数が望ましくその他のクラブ活動、運動会などの行事、部活動などにバス等で学校間をつなぎ他校のクラブ、部活に参加可能にし、子ども同士の交流、選択の幅を確保して欲しい。
- 子どもが減少してもなるべく現状維持でいて欲しいが、止むを得ない場合は子どもたちを第一に考えて検討して欲しい。
- 子どもが過ごしやすい環境を考慮してほしい。
- 子どもの人数が多い中で育つ事が、成人するにあたって必要だと思います。協調性に欠けている子どもが多すぎると感じます。
- 自分の子どもの通う学校を残し欲しいと思いつつも、宮代町の小中学校の現状について考えていかなければならないことは皆わかっていると思う。経営コンサルタントや見識者の考えはもっともだと思うが、その前に、実際小中学校に子どもを通わせている保護者、また宮代に実際に暮している人たちの思いを把握して欲しい。把握した上で専門家の意見を参考にして欲しい。今回、この意識調査で私たち保護者の意見を聞く機会を作っていただけたことはよかったです。是非アンケート結果もまとめて知らせて欲しいです。アンケートに記入したとおりにならなくても、私たちの思いを受け止めた上で議論していただき決定したのであればいいと思う。今、何を議論し、いつごろどのような方向に進めたい、などの途中経過を要所要所で知らせてもらうことで距離は随分縮まると思います。
- 生徒の学業、スポーツのモチベーションを高めるためのモデル校を設定し、それを実行するためにはどうするかを人数に落とし込み、ミッションを達成する方法を逆算していくことが重要と考えます。それぞれの学校が具体的にこの学校になりたいというビジョンを持ち、ついていけない子どもの対処も、モデルケースを県内で共有する資料を持つことにより、指導のバリエーションを増やすことが可能になると思います。良い学校に入る、スポーツができるということがすべてではなく、とは言ってもという部分も多くありますが、3~5年でこの学校になるという中期的な計画を前面に押し出し、外部からの地を投入することも視野に入れた再編を熱望します。
- 確かに子どもの数は減っている傾向にあります。しかし、人数が少ないなら、少ないなりに工夫次第でどうにでもなると思います。日本の学校は形式に拘り(そこが良くもあるのですが)柔軟性が欠けています。もっといろいろなやり方があります。どうすれば子どもたちにとって良いのかもっといろいろなやり方を工夫してください。
- 町内では遠すぎて、また、やりたい活動の場が他にあるとなると、今現在では地元(近くにあるところだったり、町内だったり)以外の選択をする方もいるので、そのあたりを汲み取った再編になればと思います。
- 細長い町の形状、20年前とは違う、(子ども)人口の推移予測、現状にとらわれない再編をして欲しい。土地はいくらでもあるのだから、沼地に小学校を建てられる宮代町ならいくらでも再編できる考えをついて欲しい。30年後の宮代のために

- 宮代の小中学校に行ってよかったなあ、ずっと宮代に住んでいよう、そう思ってもらえるような再編、配置をお願いします。
- 昔と今では子どもの人数が大幅に違うので再編するのはいいと思います。
- もし合併するのであれば、通学距離、時間、安全面など、しっかりと検討して欲しい。特に安全面。
- 少子化がすすんでいるので、それも仕方ないかと思います。

## 学校の配置

- 小学校がそのまま持ち上がりで、他の学校からはほんの少数しかこない。緊張感もなく部活の種類も少ない。もう少し統合するなどして、もっと活気ある中学生活になるとよい。
- 少子化なので小中一貫でも良いかもしれないです。
- 須賀小中のように小中一貫教育にすると長年通いなれた通学路なので徒歩からもし自転車に変更されても安全面から考えると利点が多いように思われますが立地条件を満たすのはなかなか難しいですよ。ね。
- 中学1年の生の親。春日部の中学に通う子の親と友だちなので情報交換すると、学級が5学級、クラブ活動もたくさんあり割合さかん。うちの子は下手をすると幼稚園からずっと一緒に立ち位置が全く変わらず、競争意識も0、小学校→中学校へ全員持ち上がりはやはり問題。
- 百間小から前原中へエスカレーター式に上がるが、高校以降の環境への対応に不安が残る。
- 幼稚園～中学まで同じ仲間と過ごすことが多い宮代町の子は、高校へ行ってからいろいろな人たちと出会い戸惑うことが多いようです。小さいとき守られすぎだと思います。小さいときからいろいろな人とふれあえるよう考えるべきです。中学の部活もやりたいことができない子たちがたくさんいてかわいそうです。何とか伸びたいと思っている芽をつまないでください。
- 中学校は、他校の生徒たちと交じり合う位置に建てて欲しいです。小学校から顔ぶれが変わらないというのは刺激も少なく、競争心も高まることなく成長していくのでは？
- 笠原小学校は百間小学校や東小学校に分散できると思う。学校の校舎も変わっているので町民のための施設として利用するなどして活用すると良い。(再編するならば、東武動物公園を挟んで左右に1校ずつ)
- 学校により生徒数に偏りがあるのは学力等にも差が出るのではないかと考えています。バランスよく編成していただきたい。
- 子ども数が減少し、学校が成り立たない場合は仕方ないと思うが、2学級できるのであれば今のままの環境で良いのでは。通学距離が遠くなることは避けるべきだと思います。
- 子どもたちが安心して生活できる環境を整え、どの学校にも偏りなく学べるような場を是非お願いします。
- 小学校は1校減が適切だと思いますが、中学校は3校のままだと良いと思います。
- 少子化により再編しなければならぬのはわかりますが、たまりにも学校が遠くなると負担が大きくなると思います。
- どこの学校も同じ環境で過ごせるようにして欲しい
- 前原中の所在場所が不合理だと思います。百間小の近くへ移転するなどして、文教施設を集中させて欲しい。
- 宮代町の小中学校の配置は近すぎると思います。姫宮駅周辺住民は小中学校に通うのが大変で同じ宮代町住民なのに不公平差を感じます。
- 宮代町の西側に1校、東側に1校あるとよいかと思います。



## 通学について

- 子どもの通う中学校では自転車通学の子がとても多いです。徒歩通学の子が少ないということは1人で帰ることが多く、多くのキケンに逢いやすいと思います。遠くから通う子どもの心配だけでなく近くから通う子供たちの事も考えてください。
- 子どもの減少に伴い、学校を統廃合するのは1つの学校の生徒数は増えて良いと思うが、通学距離が遠くなってしまう子どももいるのでそこが問題。
- 子どもの人数が減ったとしても、今まで通りの学区にして欲しいです。通学が不便になったり、災害時は特に心配です。家から近くの学校に通わせたいと思います。
- 子どもの人数が減り、増える見込みもむないようなら再編も必要。毎日通学する所なので遠いと大変。部活もあるので。
- これ以上自宅から学校が遠くなってしまうのは困ります。防犯面がとても心配です。携帯も持てないので帰宅が遅かったり、地震があった後の連絡手段がないので。現状のまががいいです。
- 小学生で通学時間が30分以上になると大変だと思います。
- 小学生は通学距離が長くなるとかわいそうです。(特に低学年)
- 小学校は歩いて通える距離範囲内がよい。中学校は自転車通学可能なら自由に校風で選べるとよい。
- 小学校は重いランドセルを背負って歩いて通学するので遠いのは大変だと思う。街灯や家がない道も多く事故に遭わないかいつも心配しているのに遠くなるとよけい心配になる。中学校でも自転車で通っても暗い、家のない道を通って帰るのは事故に遭わないか心配。
- 小学校は自分の力で歩ける距離が上限になるでしょう。中学校はクラス数が少ないのはあまり好ましくないとします。寄せ集めになるのは止むを得ないのでしょうね。
- 小学校は通学の安全上、家が近い方がいいと思います。中学は自転車でも通えるので1箇所にとどめ部活や学校活動を活気付けたい。
- 小中学校の統廃合に反対です。通学時間が更に長くなり、登下校の安全面が気になります。
- スクールバス(町内循環バス併用)を使い、小中学校をまとめても良いと思います。子どもも安心して通学できるし、また不便で利用者も少ない循環バスも有効利用できると考えます。近隣では循環バスも夜遅くまで走っていることはとても助かりますし、宮代の循環バスは無駄です。(時間も早い時間で終わってしまうことを考え、だれのためのバスなのかを考えて欲しい。)子どものために利用できるバスにしてください。
- スクールバスの運行も考えたほうが良いと思う。(合併するとしたら)
- 生徒数の減少があり仕方ないと思うが、あまり遠いと心配がある(不審者など)
- 中学では自転車通学可なので問題ないが、小学校では通学が遠くなると防犯の面で心配です。ボランティアの方がたくさん充実している地域もあるが、自分の子どもの通っていた地域は全くなかったため、低学年中は下校時毎日迎えに行った。自分の子を守る上では当たり前だが、親の負担も増えた。
- 中学校は自転車通学が可能であるし、学校選択もできるのですくし遠くても通学できると思います。近隣の市町へも通学可能になると部活動の選択の幅がより広がると思います。
- 中学校は部活動等で普段から帰りの時間が遅いので、再編されさらに下校時間が遅くなると事故や事件に巻き込まれる可能性が増えるのではと心配です。
- 通学区域の見直しと安全に通学できる通学路の再確認を是非役場の方々の目と足で見て現状を知っていただきたいと思います。近年、大変交通量が増加しているので危険に思える場所があると思うので、再編をしていただくと良いと思います。お願いします。
- 遠い場合は有料でスクールバスを出せばいいと思う。

- 特に小学校等で遠距離になってしまう児童のためにスクールバスをつくり安心して登校できるように配慮して欲しい。
- 百間中、前原中学区を統合しても良いと思うが、小学生の通学距離に心配はあるが。
- 1学年のクラスが減ると、友達をみつけるのが大変になると思う。通学は毎日のことなので遠いと大変なので学校を減らした場合、スクールバス等があれば良いと思います。
- 今、遠い地域の児童も30分、40分以内に通える範囲内にしてもらえると良い。夏、冬は大変だと思う。親が迎えに来ていた。迎えにこられない児童はかわいそうだった。小中一貫もよし悪しだと思う、慣れあいの環境の中、そのままズルズルと3年間過ぎてしまうイメージです。百間中は適度な刺激があつて良いと思う。
- 遠距離通学にならないことが良い(安全のため)。部活動における保護者の負担が昔より増えている(教員数が少ないのか?)
- 各家庭からほど良い距離に学校が配置されれば子どもたちが学校に行くまで遠くて疲れるということがなくなると思う。
- 学校周辺の環境が良く、部活動に対応できる校庭の広さがあり、子どもたちが通いやすい通学路がある。
- 学校数を減らしてスクールバスを運行すれば良いと思います。
- 学校と自宅の距離が長くなっていく子どもを増やしてはいけない。現在の各学校の場所を変えず、校舎内の教室等を地域や社会に役立つことに使用して明るい学校が望ましい。
- 子どもたちが安全に登校できる距離に学校があると親としても安心して毎日送りだせます。また、伝統ある学校は子どもたちにとっても思い出深く、これからも残していただきたいです。
- 少子化の現状では、学校の統廃合も止むを得ないものと思っています。その際も通学に配慮(遠距離の者のために通学バスを用意するなど)する必要があると思います。法の制約もあるかもしれませんが、隣接市町の学校と相互に通学(学校選択)できる制度も望むところです。
- 人数のことを考えると合併したほうが良いと思いますが、通学時間がかかったり、危険な通学路、周辺環境が良いところはないように思います。現在は車社会なので駐車場のことよ考えると他の施設の併設は十分に考えないと難しいと思います。

### 学校規模について

- 1学年1クラスになってしまうと子どもも親も身動きがとりづらくなると思うので、他の学校との統合もよいと思います。運営費も削減できると思いますので、その分残った学校への設備を整えることができると思います。
- 1学年あたりの学級数は、小中学校とも3クラスくらいが望ましいと思います。学校まで15分以内の場所を選んで家を購入したのであまり遠くなるのは困る。少人数で先生の目の届く範囲で勉強しているので余り人数が増えても困る。(40)人はNG
- 1学年に小学校は2クラス、中学校は3クラスという環境のなかで育ってきた我が子ですが、昔の大人数、多くのクラスのころよりも一人ひとりに目が行き届いていていじめなどもなくてよいと思います。多人数となるとやはり目の行き届かない子が表れてくるのが心配です。ひだまりサロン、すだちの家のある笠原で育ちましたが、子どもたちにとってよい影響を与えてくれたと思っています。
- 1クラスの人数は30人前後がよいと思います。少ない方が行事などで一人ひとり役割があり無関心ではいけないと思うので。
- 今の中学校は生徒数が少ないので、体育祭などの行事もさびしいものがありますし、何しろ、部活動の選択肢がなく、自分のしたい部活を選ぶことが出来ないのは悲しいことだと思います。
- 各学級数を増やし、学校数を減らしたいのでしょうか?地域色が薄れる感じがします。メリットが感じられないです。

- 学校行事がさびしいので中学は今までのように選択でき、クラスが多いのが良いと思う。
- 競争心を持ちながら、仲間の大切さを学べる場所をつくってほしいです。
- 子どもたちの人数は減ってきてはいるが、1クラスが30人以上になると先生の目も行き届かなくなるので30人以上になるときは3クラスにして少人数のクラスにしてほしいと思います。
- 子どもの数が少なく、部活や体育祭がさびしいので合併は仕方ないと思うが、宮代町はかなり大きく通学が負担にならないか心配です。
- 子どもの数が少なくなると、やはり考えなくてはなりません。少ないところの学校は多い所へ移っていくのでしょうか。
- 子どもの数が減り、現在2～3クラスのみで、学校行事等に活気が少なくなっていると思います。もう1～2クラス増えるところにより子どもたちの競争心や団結心が生まれ心身も育っていくことが出来ると思います。再編となると通学距離が長くなる子どもも出てくるかと思えます。キケンのいよう十分な検討が必要かと思えます。
- 小学校の場合は少人数学習を取り入れることが出来て少ないほうが良い学年もありますが、中学校の場合は1学年のクラス数も4クラス以上あり、なおかつ、2校以上の小学校出身生が進学できた方が良いと思います。友人関係にも新しい風が吹いたほうが良いと思います。部活動の選択の幅も増えるのもう少し1校あたりの人数を増やしてほしいです。
- 小中学校の再編には賛成です。1学年3クラス以上は必要と思います。また、部活動の少なさも改善すべきと思います。子どもたちの成長に部活動は絶対必要です。
- 少人数で授業を行っていますが、授業内容についていけない子どもがいることで一人ひとり目の行き届いた環境ではないと感じています。落ちこぼれが出ないように、1クラスの人数を減らして環境を整えることが正しいといえませんが、何か対策があればと思います。
- 少人数の学級の方が生徒一人ひとりに目が行き届き良いと思います(受けもちの先生によりますが。)
- 人口を考えると、宮代町では2校くらいが良いのではないかと。地方では中学校が遠いのは当たり前で人数が多いことがこの年齢では必要。
- 生徒が少ないと部活の選択肢が少なくなったり、子ども同士の交流の機会が減ったりいい状態とはいえないので再編する場合は生徒数を良く考えて欲しい。
- 先生方がインフルエンザ等にかかって無理して出勤しなくていように、数を増やして欲しいと思います。
- 先生方の人数が少ないと部活動の顧問の先生が足りず盛り上がらない。先生を増やしてほしい。
- 先生の人数が少なすぎて子どもたち一人ひとりに対してじっくり向き合えていない気がする。良い先生が少ない、こちらから先生を選ぶことは出来ないのも良い先生が来て欲しい。
- 他中学校で8組まであるが、卒業するまで名前も知らない同級生がたくさんいると聞きました。百中は3組しかないから全員が知り合いみたいです。
- 中学生で部活は大きな学習の場なのに人数が少ない理由で廃部になるのはやる気がなくなってしまう。他の学校と合同で活動などして欲しい。
- 中学では子どもが少ないため部活動の数も限られてしまうので再編によって部活動も増えれば良いと思います。
- 中学では人数が少ないことで部活に活気がなく感じます。部活の数も少ないので選べないですね。先生の数が増えれば外部コーチを入れてでもしっかり取り組んで欲しい。教えられる先生がいないのも子どもがかわいそうです。基礎すら教えてもらえない、よろしく願います。
- 中学校の人数が少なく、部活動の種類減少や学力にも差が出ると思う。自転車通学できるので多少遠くても本当は大きい学校に通わせたい。

- 昔と違い子どもの人数も減ってきているので、ある程度の人数を確保してもらいたい。

### 施設・設備について

- 各教室にエアコンを設置すべき。3年生だけというのはおかしい。熱中症の危険をおかしてまでエアコンなしの教室で勉強するというのでしょうか。
- 笠原小の昇降口がそれぞれというのは今の時期風邪、インフルエンザが流行しなくて良いと思うが、造りは機能的でないと思う。学校の数に程よいと思う。
- 近隣(久喜市)では、将来を見据え学校の建替えに後で老人ホームになるようなつくりにしたと聞きました。とてもよい案だと思います。併設で子どもにとっても視野が広がり素敵だと思います。
- 校庭の整備
- 質問14でウの理由として「お年寄り」や「児童」という偏りのない施設が望ましいと思います。
- 質問とは違っていますが、現在の学校のトイレや水道をもう少しきれいにして欲しいと思います。生徒達だけの清掃では学校も年数が経っているので無理なのではと思います。
- 小学校の時に学童に行っていました。人数の割には部屋が狭く、雨の日は外にも出られずかわいそうだなと思っていました。もう少し学校と学童のつながりがよくなればと思います。
- 小中の連携は大切だけど、学生の勉強する所に福祉関係のコミュニケーションの場にするのは賛成できない。
- 須賀小、中学校は無理に2つに分けており効率、コストともに無駄があると思います。1つの大きな校舎、大きなグラウンド、体育館など、共有可能なものを統合することにより良い施設を無駄なく使うことができると思います。
- 耐震をしっかりと欲しい。
- 地域の中に学校があり、開かれた場所として大人になっても入れる場所であって欲しい。先生方は大変かもしれないが子どもたちはいろいろな大人にふれた方がよい。
- 人数が多くなるならば、校庭も広いところが良い。学校までの距離が遠くなると保護者が学校へ行くときにどうしても車になってしまうので、周りに駐車スペースがあるとうれしい。
- のびのびと育つ広さ、死角の少ない設計、笠原のような個性、周りの交通の便
- 福祉サービスを併設することにより、高齢者や障がい者などと触れ合い自分とは異なる様々な人に対する接し方を学び、優しい心を育てることができる。
- 町の行政の都合での子どもへの配慮にかけた併設等はよくないと思う。
- メンテナンスの面を考えると笠原小のつくりは財政の負担になると思う。しかし、建築的な価値と教育的試みを尊重して笠原小は残して欲しい。
- 広範囲になり通学が困難になったり支障をきたす事は避けて欲しい。まずは、現在在住している学校の冷暖房の設備、衛生設備から見直し、学校内の雰囲気明るくなるようにして欲しい。
- トイレが汚いので、きれいにした方がよいと思います。

### その他の意見

- いじめに関して先生方の対応が悪い。先生方の教育をもっとしっかりと欲しい。
- 今の時代を考えると、やはり今のままではいけないと思います。子どもたちへの配慮をしながらも早急に見直すべきだと思います。
- 今のままでよいと思う

- 今のままでよいと思う
- 笠原小ができたことで、過去本田に住む人も須賀小・中へ登校していたのが、百間中へいってしまうので人数が少なくなりました。笠原小は町の施設にしてもいいのでは。
- 家族との時間をとるために、土曜日は休みのままがいい。
- 学区内を越えた選択肢はこれからも継続していただきたいです。
- 学区の編成については、選択自由(中学校)で良いのでは。幼・小・中とずっと同じでは交流の意味では欠けてしまう。
- 学校施設と他の施設の併設案はとてもよいと思います。少子高齢化で地域の方と子どもたちのかかわりが少なくなっている中、たくさんの地域の方に見守られながら地域で成長していけたら子どもにとっても親にとってもありがたいことだと思います。
- 〇〇から子どもが小学校〇年生のときに引っ越してきました。須賀小・中学校の学校生活及びイベント(運動会、音楽会等)を見て、生徒の前向きで生き生きとした姿に越してきた1年間は驚いていました。そして、生徒の前向きな姿勢は伝統となり、後輩に受け継がれているのです。スパイラルが上へ上へと進化しています。非常に良い学校のあるべき姿で感じます。このような小中学校が数多くできることが理想だと思います。
- 現状どおりで良いと思います。
- 現状に不満はありません。
- 子育て支援に力を入れて、少子化にならないように県や町に協力してもらおう。
- 子ども達にとって母校がなくなってしまうのはさびしいことなので、町は人・住民を増やす努力をもっとして欲しいと思います。
- 子どもの減少とともに、将来小中学校が減ってしまう可能性があると思われませんが、私自身宮代町内出身なので母校がなくなってしまうのはとても悲しい事だと思います。廃校となってしまうなら学校跡地には関連した施設(建物等)を作ってほしいと思います。
- 実際に小中学校に通っている保護者にこのように意見を聞くのはとても良いことだと思います。「事件は現場で起きている」のだから、でも答えるのは難しかったです。今後どのような選択肢になり、選ぶことを保護者ができるとうれしいです。
- 授業時間の少なさが学力低下につながっているのがよくわかる。
- 授業の自由選択制などもあれば良いと思います。例えば歴史じゃなくて世界史と日本史とか。世界の料理を学ぶとか。全体的にもっと自由になる形の再編が良いと思います。
- 少子化、又高齢化が進むなか、地域でん何か?作り上げていかないとどんどん孤立していくのではないかな。交流の場をつくりたい。
- 中学校で地区役員をやりましたが、朝の声かけ運動のときにAM7:40~8:15の間なので声かけボランティアに代えて実行してもいいと思いますが、時間が長すぎます。先生方でできればやっていただきたいです。
- 中学校は宮代の地理的形から適正と思われる。小学校については確かに人口が減ってきていて再編も必要なかもしれないが、例えば笠原小では特徴的な建物や教育方針(はだしの教育、自然と共に体験の多い行事など)から町のシンボルにもなっていると思われるので是非残して欲しい。そして、その教育のすばらしさを発信し、宮代町に子育て世代を呼び込んで欲しい。特に道仏の新しい宅地や駅の開発などで人口を増やせる可能性を教育的見地からも探してほしいです。又、新町長は中3生にエアコンと言っていますが、その投資よりも扇風機を増やし、その分のお金を教育環境の充実の方へまわして欲しい。
- 町内の小中学校を統合させるのではなく、子ども自体の人数を増やせるように大きなマンションを建てるなど町は力を注ぐべきだと思います。

- できれば今までどおりに学校に通わせたいです。
- 東小学校と百間中学校も近いうちに廃校になるという話を聞きました。子どもが少なくなり母校がなくなる事を子どもたちもとても悲しんでおります。縮小しても残すことができればとてもうれしいのですか°。
- 部活で他の中学校との練習試合の日程、時間など早めに連絡してもらった方がよいと思う、前日の夜だと用意が忙しいので。(弁当、お金など)
- 宮代町では他の市町村と合併しないと難しいと思う。
- 私は41歳ですが、私が小中のときは今みたいなゲームがあった時代ではないので自分たちで考えながら外で走り回っていたので、現代の子どももそうであって欲しいと思っています。本などで自分の考え方と比べ仲間と意見するのが良いのですが、大人が本を読まなくなっている所以子どもに本のすごさを知って欲しいです。

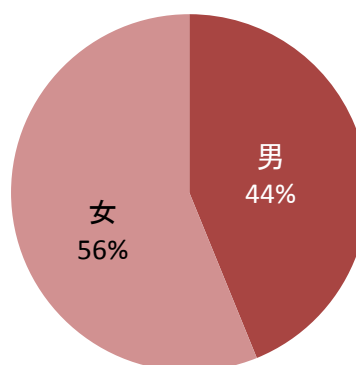
## 意識調査集計結果(教職員)

- ◆実施期間 : 平成26年2月12日(水)～ 2月20日(木)
- ◆配布数 : 169人
- ◆回答数 : 166人 (回収率 98.2% )

### I 回答者自身について

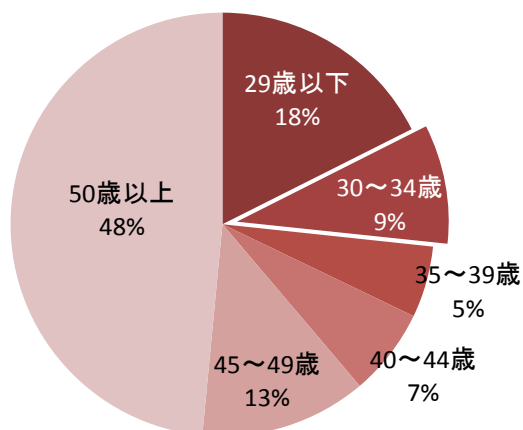
#### 【質問1】 回答者の性別

選択項目	回答数
ア 男	71人
イ 女	91
無回答	4



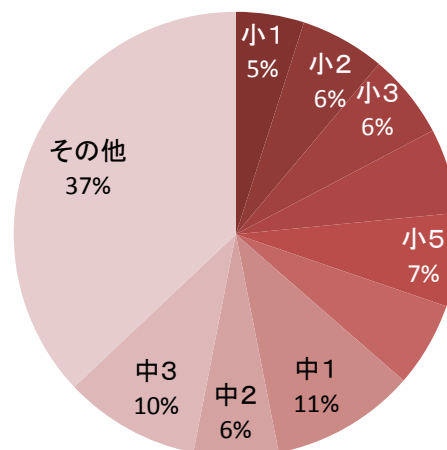
#### 【質問2】 回答者の年代

選択項目	回答数
ア 29歳以下	29人
イ 30～34歳	15
ウ 35～39歳	9
エ 40～44歳	11
オ 45～49歳	21
カ 50歳以上	80
無回答	1



#### 【質問3】 担当学年

選択項目	回答数
ア 小1	8人
イ 小2	10
ウ 小3	10
エ 小4	10
オ 小5	11
カ 小6	10
キ 中1	17
ク 中2	10
ケ 中3	16
コ その他	60
無回答	4

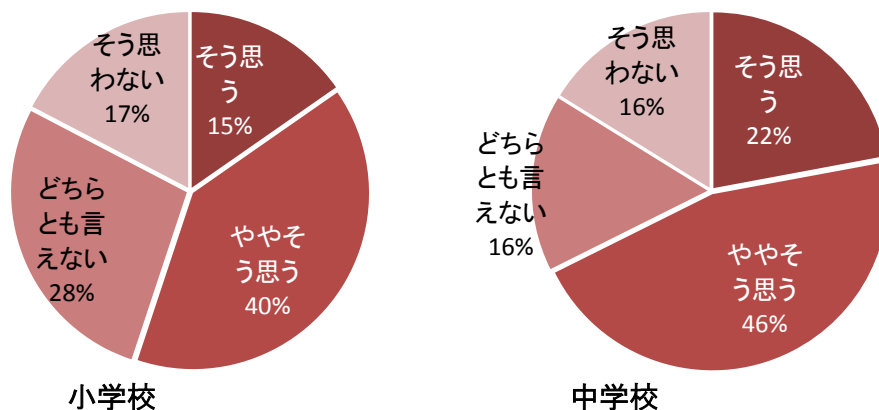


※複数の学年を担当する先生は「コ その他」に分類

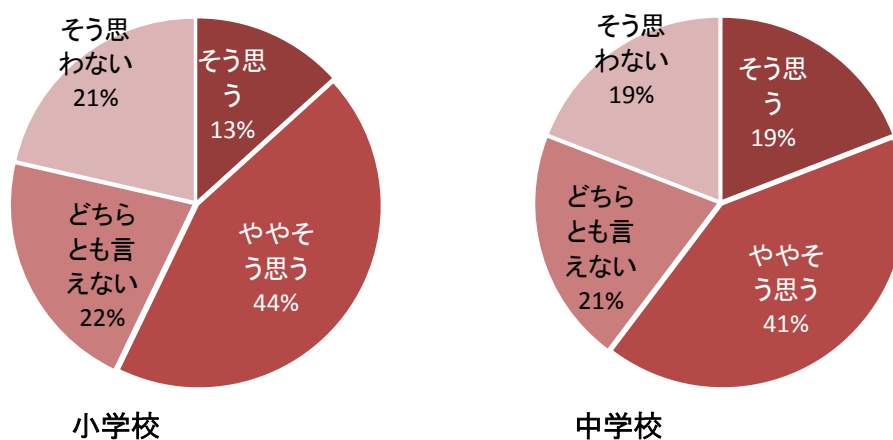
## Ⅱ 学校、学級の規模について

### 【質問4】 児童・生徒数減少による影響について

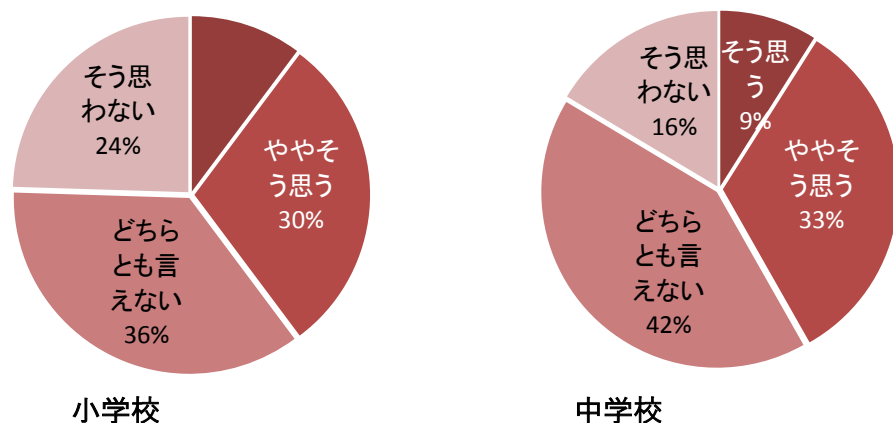
- ① 仲間との交流により切磋琢磨したり、刺激し合う機会が少なく、競争心や社会性が育ちにくくなる。… 特に中学校では約7割が実感されているようです。



- ② 運動会の種目や音楽の合奏、合唱など、集団での活動への取組にくくなり、迫力にも欠ける… 多彩な種目、取組みを行う中学校で高い傾向です。

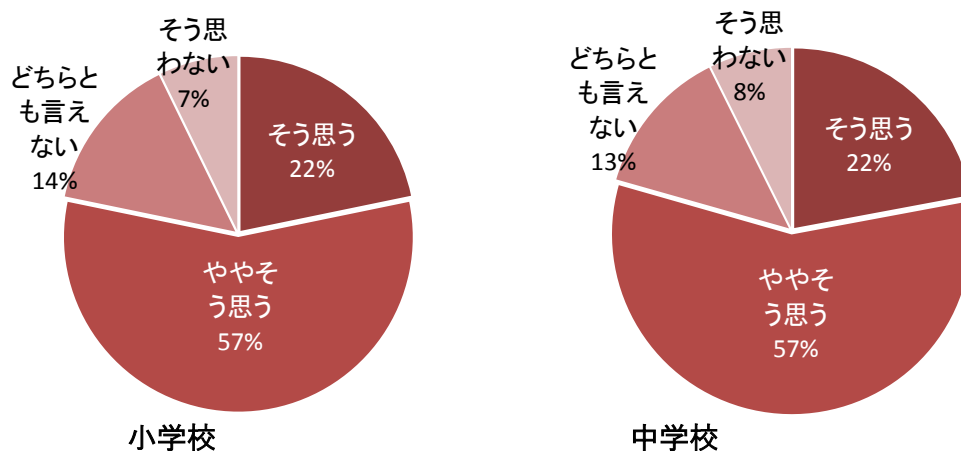


- ③ 多くの友達の見かたや考え方に触れながら学習を進めたりすることがしにくくなる… 「どちらとも言えない」の割合が多いのは「工夫次第」と窺えます。

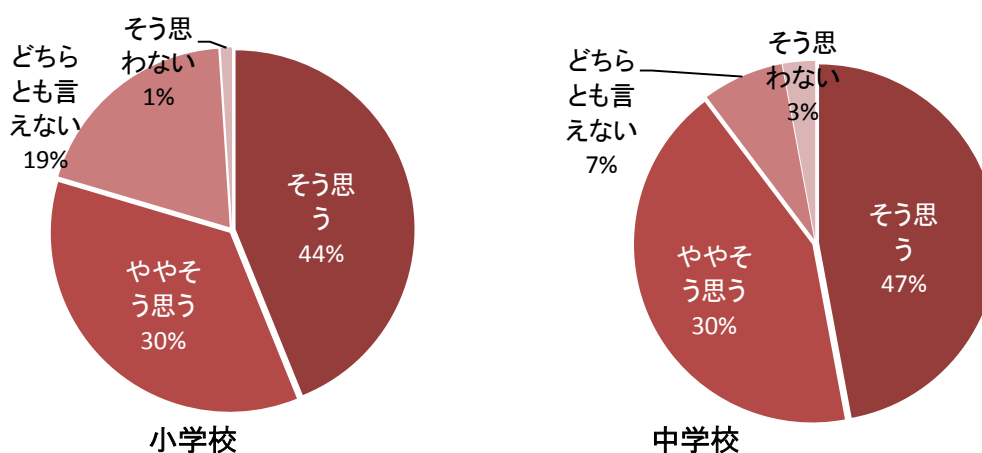




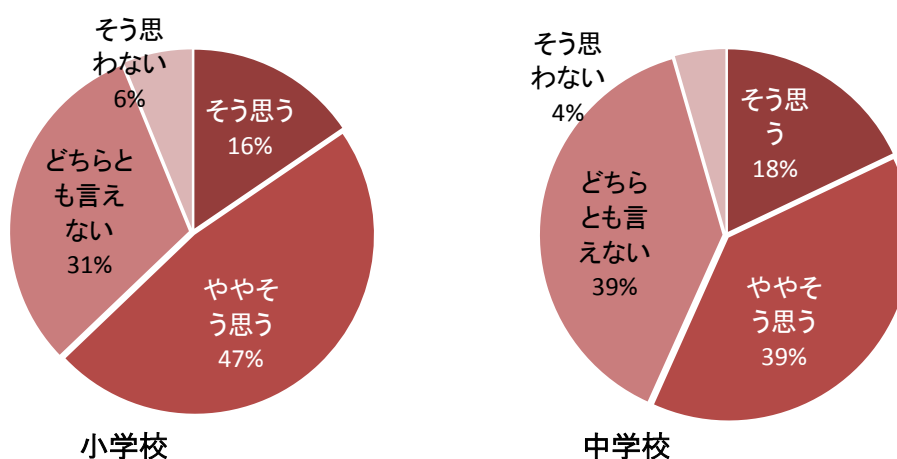
- ④ 限られた集団で育つため、子どもたちの関係や集団の中での役割、位置が固定化され  
 … 多くの先生が実感している項目となりました。



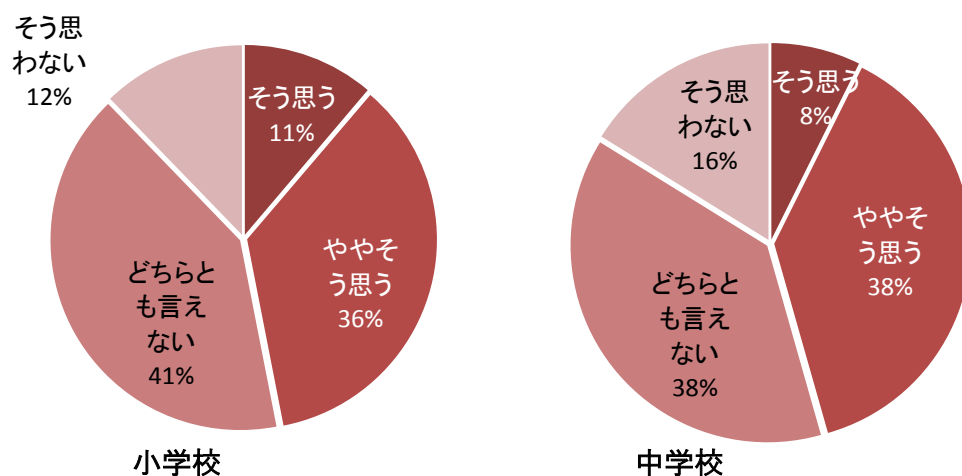
- ⑤ 先生の数が少ないため、校務に追われ子どもたちとふれあう時間が減る  
 … 教員数と事務量については、今日の教育現場の課題のひとつです。



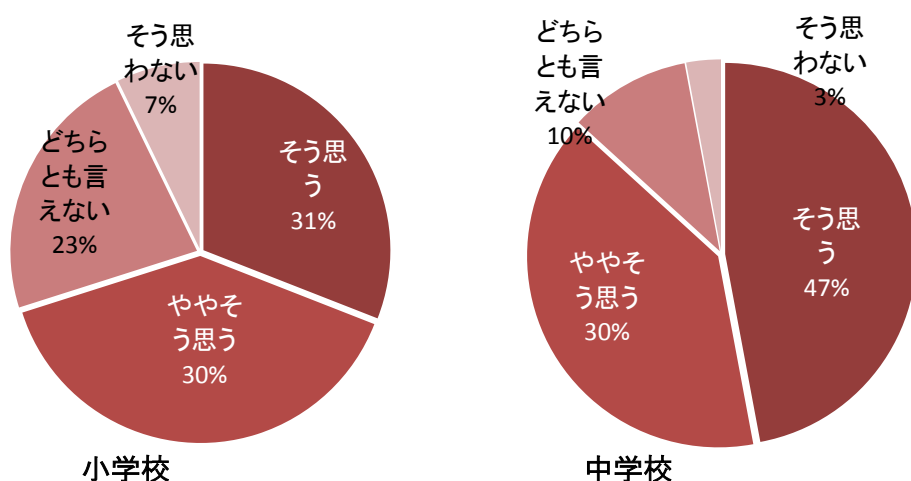
- ⑥ PTAなどの活動で、保護者の役割・負担が増える  
 … 実感している割合とともに「どちらとも…」も多い結果となりました。



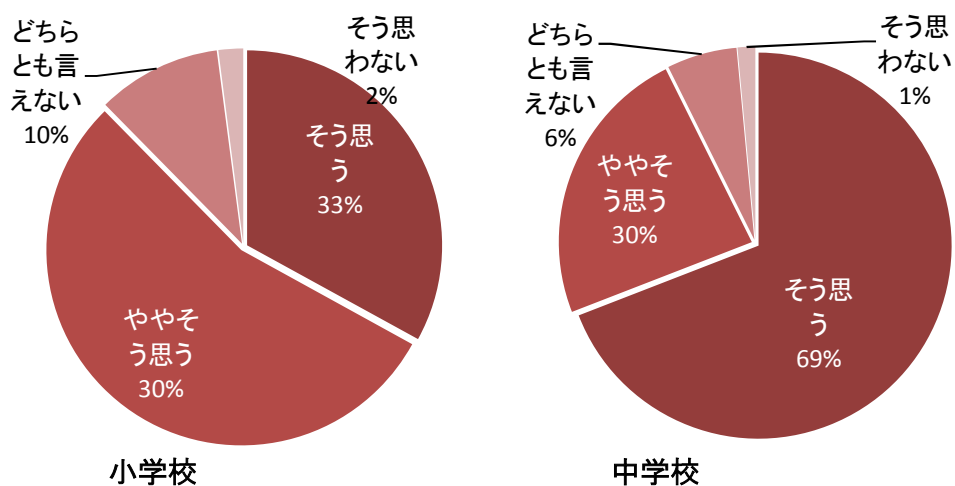
- ⑦ 保護者同士の交流機会が減少し、子育ての意見交換や、情報を得たりすることが難しくなる … 児童生徒数との相関だけではないようです。



- ⑧ 学級数の減少により先生の数が減るため学校運営が難しくなる … 「教科担任」配置を必要とする中学校において顕著な傾向が見られます。



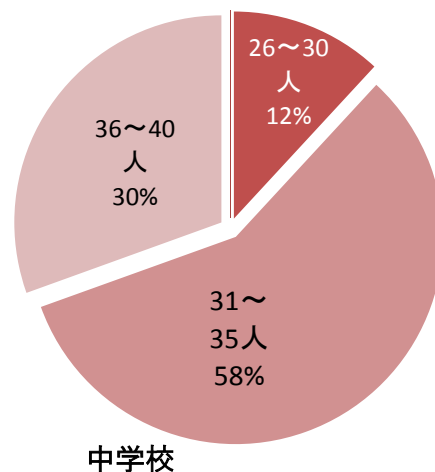
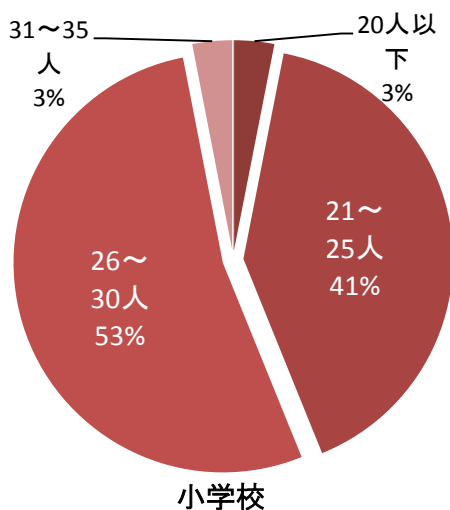
- ⑨ 部活動(クラブ活動)の種類が少なくなったり、活動内容が縮小したりする … 小中学校とも、大半の先生が感じている項目であることが判ります。



【質問5】 望ましい1学級あたりの人数

選択項目	小学校	中学校
ア 20人以下	3件	0件
イ 21～25人	40件	0件
ウ 26～30人	52件	7件
エ 31～35人	3件	34件
オ 36～40人	0件	18件

小学校では「21～30人」、中学校は「31～40人」に分布が分かれました。  
子どもの年齢が低いほど目配りが必要なことがうかがえます。



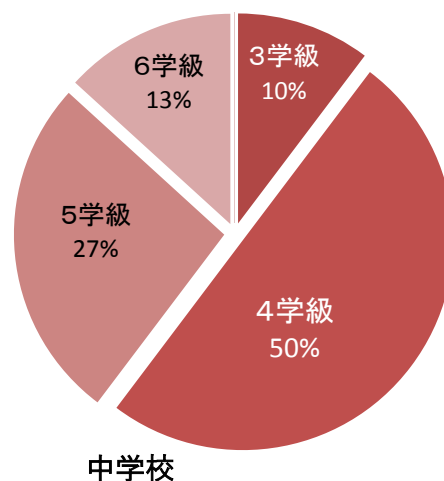
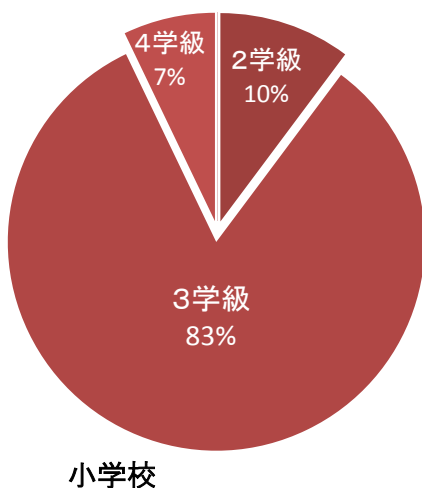
【質問6】 望ましい1学年あたりの学級数

選択項目	小学校	中学校
ア 1学級	0件	0件
イ 2学級	10件	0件
ウ 3学級	81件	7件
エ 4学級	7件	34件
オ 5学級	0件	18件
カ 6学級	0件	9件
キ その他	0件	0件

小学校は「3学級」、中学校は「4学級」がもっとも多くなりました。  
なお、26年度の学級数構成は下表のとおりです。

	2学級	3学級
小学校	20	4
中学校	4	5

H26.4現在



【質問7】 【問6】1学年あたり学級数の選択理由(2つ選択)

小学校

最も多かった「3学級」の理由は、「クラス替え」「交流機会」が挙げられています。

【学級ごとの選択理由(クロス)】

	2学級	3学級	4学級
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	1件	0件	0件
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える 相性が合わない場合に環境を変えられる	3	65	6
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う 機会に恵まれる	5	30	0
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大 になる	2	23	2
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高め あえる機会がある	7	36	3
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	0	5	2
キ その他	0	2	0

中学校

中学校でも、最も多かった理由として、「クラス替え」「交流機会」が挙げられました。

【学級ごとの選択理由(クロス)】

	3学級	4学級	5学級	6学級
ア 同じ友だちとずっと一緒に過ごせる	0件	0件	0件	0件
イ クラス替で、たくさんの友達とふれ合える 相性が合わない場合に環境を変えられる	3	24	14	5
ウ いろいろな役割を経験し、協調性を養う 機会に恵まれる	2	8	7	2
エ 学校全体に活気がある、学校行事が盛大 になる	3	15	4	7
オ 他の学級との交流や競争で、互いを高め あえる機会がある	3	19	6	2
カ クラブ活動や教科選択の幅が広がる	0	2	3	2
キ その他	1	1	0	0

【質問8】 学校の施設・設備のうち、優先して整備した方がよいもの(3つ選択)

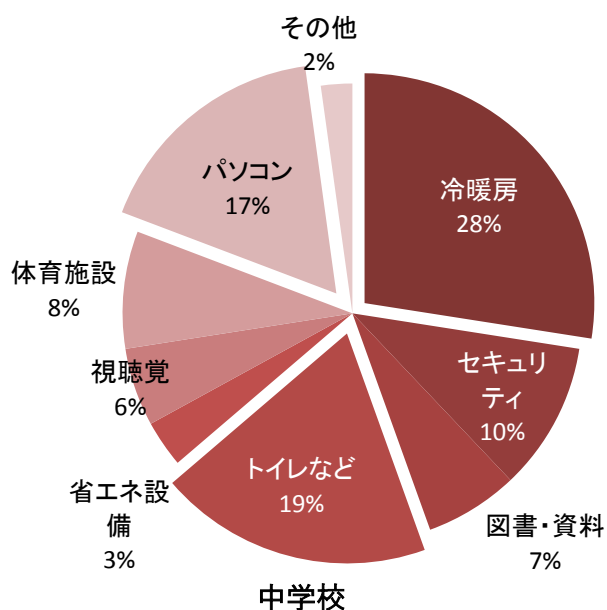
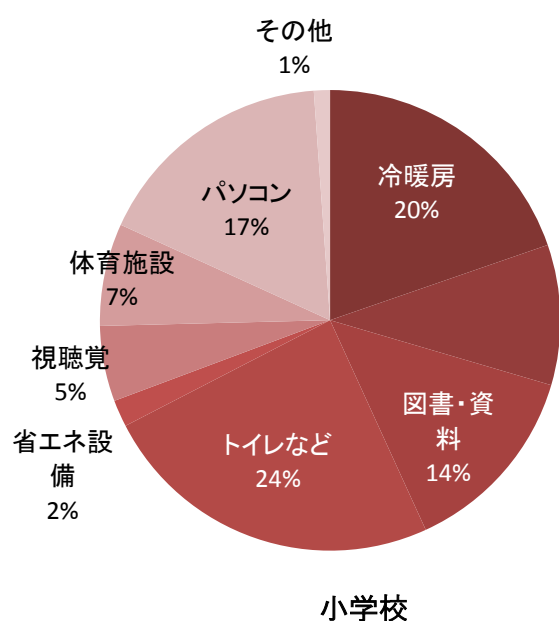
選択項目	小学校	中学校
ア 冷暖房設備	52件	50件
イ セキュリティ対策	26	19
ウ 図書・資料	36	12
エ トイレなど衛生設備	64	35
オ 省エネ設備	5	6
カ 視聴覚設備	14	10
キ 体育施設	19	15
ク パソコンとネットワーク環境	45	31
ケ その他	3	4

小中学校ともに「冷暖房」「トイレ」「パソコン」が上位に挙げられました。

他の項目も同様の分布ですが、小学校では「トイレ」、中学校は「冷暖房」の比率が高いことがうかがえます。

「ケ その他」の主なもの

校舎などの老朽化対策 / 集会室などの広い教室 / 多目的に使えるスペース机、椅子、ロッカーなどの設備 / バリアフリー設備



#### IV その他 自由意見欄

- 明らかな少子化次代であるため、学校施設の充実等を考えると統廃合を視野に入れて再編されることを望みます。さらに小中一貫教育の学校として同じ敷地内での一貫校を目指すのも今後の義務教育の方向かと思えます。
- 今の宮代町の現状からすると検討、改善が必要だと思います。
- 学校は、学校としての存在意義だけでなく地域の文化施設としての意味合いや地域コミュニティの中核としての役割があります。小中学校の再編にはそうした点も踏まえ地域性に配慮していただきたい。
- 子どもの学習環境を保障できるような学校であれば先生方の士気が高まり熱のある学校になっていくと考える。
- 地元の人たちの賛成が得られれば統合も止むを得ないと考えます。
- 生徒が毎日全力で学校生活を送っていますので現状のままで良いと思います。
- 臨採の先生が多くて継続した指導が続けにくいことが残念だと思う。
- 宮代町は他市町に比べて町費の非常勤職員が豊富であると感じています。そのため、学校に潤いがありきめ細やかな教育活動が行う事が出来ていると思います。予算の関係とあって減少させてしまうことは学校にとって最大の損失だと思うので絶対に削減しないでくださいお願いします。また、本採用の職員については指導力に優れたベテランの教師が増えてきたように思います。今後もさらなる優秀な教師の配置をお願いします。宮代町の未来を築く、子どもたちに最高の教育機会を与えられるようお願いします。
- 予算の面はあると思うが、児童生徒数が減っても教員の数はあまり減らさない方向で考えた方がよいと思う。
- 子どもにとっての母校は、校舎があってもなくても心に刻まれるもの。しかし、特色ある校舎は残す努力をして欲しい。(公民館利用とする等々)
- 児童数が減り学校統合になると地域性が失われてしまう気がするので少ない人数でも地域に昔からある学校がよい。親としても母校という愛情が協力性を高める要因だと思うので。
- 1、2年生は25人まで、3年生以上は1クラス30人以内でクラス編成してもらいたい。
- 35人学級の実現、通常学級に籍を置きながら知的障害のある児童生徒が支援学級、支援学校で教育が受けられることの実現
- 3学級くらいあればと考えているので、小学校も3校にしてはと思います。
- 各教科最低1人以上の教員配置が望ましいと思います。美・技・音・家等(生徒の学習内容について3年間を見通すことが出来るため)
- 小規模だと校務分掌が一人の教員に多くなり出張数も増える。そのため、学級担任不在の日が多くなってしまい、学級経営も問題がある。
- 少子化による統合は仕方ないと思いますが、今の小学校4校は学校としてよいと思います。クラス数も同様ですが、2つは優劣の見方ができてしまい、4校なら個性を出し合える数であると思っています。
- 単学級は子どもたちの役割や人間関係が固定化することを実感しています。何か配慮できることがあればと思います。
- 中学校では部活動について課題があります。教員数、生徒数の減少により部活はどんどん少なくなってきました。近くの中学校にはその子のやりたい部活がないということが多く見られます。部活の役割は生徒の成長に大きく関わるとしています。適正規模は考えていくべきだと思います。
- 人数が多いとなかなか一人ひとりに目が行き届かない、是非30人以上はなしにして欲しいです。
- ある程度の規模を確保しないと、活動等が沈滞する。小中学校の再編は必要である。

- 可能であればより多様な生徒、多様な教員の中で、幅広い経験を積みつつ学びあうことは大変有意義であると感じます。
- 子どもたちに目が行き届くよう、ゆとりを持った教育体制が必要だと思います。
- 生徒数が減り部活動や行事等で課題が出ているので再編は考えてもいいと思う。
- 小学校低学年が無理なく通える再編をお願いしたい。
- 少子化により学級数や児童数が減ることの課題はあるが、学区を広くすることで児童の登下校の支障があってはならないと思う。
- 通学距離が長くないよう配慮していただきたい。
- ①小4校、中2校とする。前原中は廃校。②須賀中の学区を広げて、笠原小を2つに分ける。③東小を現百間中の場所に移動し、前原中を百間中とする。④東小の土地に町の公共施設を建設する(進修館より使い勝手の良い文化会館等)
- 小中連携を進めているので小中一貫校をお願いします。同敷地内での学校。
- 中学校に入学するとき、2つの小学校から入学できる方がよいと思います。
- 宮代町は小4校、中3校。他市町に比べて小中一貫教育も多く行われています。中学生の指導においても落ち着きがあるのは適正配置が行われているためと思われます。
- 百間中学校と前原中学校をひとつの中学校にする
- 百間中と前原中で統合し1つの中学校にする。東小、笠原小、百間小を統合し新たに2つの小学校をつくる。須賀小中は現在のまま存続させる。
- 子どもたちの安全確保(登下校時)
- 子どもたちの通学の問題もよく考慮されて、特に中学校で自転車通学の生徒があまり多くならないこともお願いしたい。
- 適切な規模で運営されることが望ましいと思うが、児童生徒の通学圏に危険が伴わないよう最も配慮されるべきであると思う。